



愛知陸協広報

第49号

令和元年11月30日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0015 名古屋市中区大井町3-15 日重ビル2F

電話 (052) 684-7498 ファックス (052) 684-7499

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

これからの陸上界に期待すること

副会長 梅村 清英 (梅村学園総長・理事長)

「スポーツは、世界共通の人類の文化である」。スポーツ基本法(2011年施行)の前文にあるとおり、スポーツは地域や世代を超えて幅広く浸透しています。そうした中で、次代を担う若い世代を育成することの重要性は言うまでもありません。体力の向上だけでなく、スポーツマンシップを身に付け、困難を克服する気持ちを養う。人生を豊かにする経験を積むことが大切でしょう。若い人たちを導く立場の愛知陸協の指導者の方々には、日頃のご労苦に改めて敬意を表します。

2020東京オリンピック・パラリンピックが来夏に迫り、2026年には第20回アジア競技大会が地元で開催されます。トップアスリートが集い、極限の力を発揮して競います。その姿を若い世代がしっかりと記憶にとどめてほしいと思います。と同時に、スポーツを通じて国際交流をするチャンスです。「世界共通の文化」だからこそ、参加選手との交流も進めたいものです。

陸上競技をこの地方に根付かせた先達の足跡を振り返ります。1899年(明治32年)から18年間、愛知一中(現在の県立旭丘高校)の校長を務め、後に「マラソン王」と称された日比野寛先生のことです。マラソンを教育に取り入れたばかりか、自然体で走る「日比野式走法」を考案し、海外からも評価されました。全国をマラソン行脚して普及にも努めました。

日比野先生は1917年(大正6年)、日本初の駅伝「東海道駅伝徒歩競走」(京都―東京間508キロメートル、23区間)に愛知一中の生徒らと出場し、西軍のアンカーとして26キロを走り抜きました。当時50歳、代議士でした。

愛知陸協の第5代会長で、私の祖父である梅村学園創設者の梅村清明は、愛知一中時代に陸上部の主将を務めました。当時、日比野先生は他校に移っていましたが、愛知一中で陸上の指導もしていました。清明は、東海大会で団体優勝し、日比野先生から優勝旗を受け取り、後に「あの感激は一生頭の底にある」と語っていました。

こんなエピソードもあります。後に清明の妻となる梅村(旧姓渡辺)すみ子は1930年(昭和5年)、世界女子五輪の400㍍リレーに13歳で出場し、4位に入賞しました。帰国後、不調だったところに、日比野先生が現れ、「私について走りなさい」と、冬場に走りの基本を教わりました。すみ子は1932年の日本選手権100メートルで12秒2の日本記録を樹立し、20年間記録を保持しました。その年のロサンゼルス五輪は大会前に肉離れを起こしていたものの、100㍍準決勝進出、400㍍リレー5位となりました。日比野先生のことを「生涯の師」と呼んでいました。清明・すみ子の長男で私の父である梅村清弘は、学生時代に短距離選手として活躍し、愛知陸協の第7代会長を務めました。

日比野先生の功績は、若手の育成、率先垂範、生涯スポーツの実践など数え切れません。その足跡をかみしめながら、愛知陸協の発展に微力ながら尽くす所存です。

東京オリンピック代表内定 愛知ゆかりの3選手

9月15日に東京で行なわれたMGCで共に2位に入り、服部勇馬選手(トヨタ自動車)と豊橋出身の鈴木亜由子選手(日本郵政グループ)がマラソン代表に内定しました。一方ドーハで10月4日に行なわれた世界陸上選手権において、20km競歩で優勝した山西利和選手(愛知製鋼)も代表に内定しました。

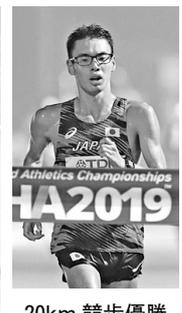
(写真提供: 中日新聞社)



服部選手



鈴木選手

20km競歩優勝
山西利和選手

専門委員会報告

総務委員会

10月末の「東海高校新人陸上競技大会」、これに続く11月初めの「小学生陸上選手権大会」をもって愛知の2019年のトラック&フィールドが終了しました。多くの審判員の方々のご協力により競技運営できましたこと、深く感謝いたします。

この後は「駅伝」、また、年明けには「競歩」「マラソン」とロードレースが続きます。これらの大会に向け、各委員会や各方面との連携を取りながら準備・本番を迎えたいと思っています。(水野 隆夫)

競技委員会

トラック&フィールドの競技会も終わり、駅伝、ロードの競技会が始まっています。

競技会の内容も変化の1年でありました。運営上のいろいろなお声をいただいておりますが、よりよい競技会運営のために取り組んで行きたいと思っております。

競技委員会では来年度の競技会日程の調整準備に入ります。日程に従って、県大会や地区大会を編成していきます。特にパロマ瑞穂スタジアムは、Jリーグとの関係や競技者の利便性など様々な条件の中で競技日程を決めていくのは難しいのですが、多くの方々の協力を得て調整を行ないます。競技日程の変更や会場の変更をお願いしなければならない大会もあると思われます。ご理解、ご協力のほど、よろしく申し上げます。

2020年からのパロマ瑞穂スタジアムの改築を見据え、競技会の精選や競技内容の見直しなども視野に入れて取り組んで行かなければなりません。各地域大会も協力をさせていただくことがあるかもしれませんが宜しくお願いします。

各競技会におきまして多くの問題も浮き彫りになってきました。競技場の制約、特に参加者の増加に伴ない競技運営が困難になってきました。参加制限や標準記録等の見直しをし、出場競技者がよい記録を出せることと、競技役員にも過重な負担をかけないことなどを考慮していかなければなりません。よい案、ご意見等ありましたらお聞かせください。(榊原 茂)

施設・用器具委員会

1. 検定関係の報告

- (1) 豊橋市営陸上競技場第3種事前指導
(6月17日) 青木検定員
- (2) 瑞穂公園陸上競技場一部変更検定 300mH ポイント
(7月12日) 青木検定員
- (3) 半田運動公園陸上競技場3種事前指導
(8月7日) 青木検定員
- (4) 安城陸上競技場第3種事前指導
(8月9日) 青木検定員

* 新設岡崎・春日井陸上競技場の本設計については、青木が担当者との相談、指導を数回持ち、その後日本陸連施設用器具委員会の図面指導を受けました。

- (5) 新設知多運動公園陸上競技場付設競歩路検定

(11月30日予定)

- (6) 犬山ハーフマラソンコース公認継続検定

(12月22日予定)

- (7) 名古屋ウィメンズコース一部検定(1月4・5日予定)

2. 瑞穂公園陸上競技場の改築等について、名古屋市教育委員会との会議を数回(4/19、5/30、6/20、7/12・22・29、8/8、9/5・6、10/18)持ち、現在愛知陸協案を強く要望しています。主なものは以下です。

(1) 完成時期について：名古屋市案 2026/3 完成では、施設・審判訓練・リハーサル大会もできないので、「2025/3 完成、最低でも 2025/11 完成を」との要望書を提出済みです。

(2) 瑞穂公園陸上競技場のトラック、フィールド、各部屋配置等については、陸上競技対応について愛知陸協案を提出しています。

(3) 瑞穂公園北陸上競技場改修については、本陸改築中に北陸での大会開催に関わる整備(電光掲示板、コンピュータ・インカム等の電気配線、器具庫の増設、審判員室の増設、ウォーミングアップ場の確保、雨天・熱中症対策等)を具体的に愛知陸協案を提案しています。

(4) 精密機器・備品・用器具等の大移動計画については、北陸整備予算が付いてからになりそうです。

* いずれの問題点も現段階では、残念ながら市教委からは、まだ結論は出ていません。

3. 知多競歩路新設について

3/29 知多市役所へのお願い(名倉、青木)

4/26 施設用器具委員会で各陸上競技場の様子を集約する。

6/7 知多市役所との打合せ(名倉、青木)

7/30、10/15 知多警察署の指導を受けその後知多市役所との打合せ(名倉、青木)

主な内容は以下であるので、許可が出るように現在準備作業を進めています。

- ① 知多で実施する理由
- ② ガードマン配置(会社名)
- ③ 審判員の配置と任務マニュアル作成
- ④ 関係者駐車場の確保
- ⑤ 地域住民の同意書
- ⑥ 地域住民への広報
- ⑦ 告知交通規制看板の工夫と配置図
- ⑧ ロードコーン配置地図
- ⑨ その他

11/3 自転車計測なので、カリブレーションコースが必要となるため、400mのコースを日本陸連検定テープで設営します。

11/30 IAAF自転車計測員(桑原・平川・飯島)による1km周回コースを計測します。



知多1km競歩路南側折り返しからカリブレーションコースの設営(青木 実)

クラブ紹介④③ 稲沢 AC

稲沢 AC は、稲沢市を中心に活動しているクラブチームです。始まりは、2011年に愛知駅伝選抜、強化を目的とした「ランニング教室」からスタートしました。長距離を目的として募集したところ、短距離希望の人が多く集まりましたので、短距離やその他の種目も教えることになりました。場所は、稲沢市陸上競技場で月1回の陸上教室に、約100名の小中学生 + αの人が登録しております。

陸上教室を行なう中で、もう少し上を目指したい、力を試したい、いろんな経験をさせたいという要望にお応えして、2015年から「稲沢 AC」を発足させ、小学4年生以上で週1回土曜日の練習を行なっております。2018年からは、月、木の夕方1～2時間、稲沢公園、小沢公園で練習を始めました。練習回数を増やすことで、結果も表れてきました。昨年は、走高跳で東海小学生大会優勝者が出ました。リレーでも、県大会4位・5位入賞もありました。ジャベリックスローで、県4位も出ました。

稲沢市には9つの中学校があるものの、陸上部が1校も

ありません。どこの中学校でも陸上部くらはあって当然の時代から、今は中学校で陸上部がなく陸上に関心をもって人はたくさんいても、指導者がいないというのが現状です。その中で、如何に陸上の熱を拡げていったらいいのかを考えています。中学で陸上部がなくても、陸上大会はありますので、稲沢 AC 所属だった子が、大会に出ているのを目にすると少しうれしくなります。ほとんどの高校に陸上部はありますから、小学生で陸上の経験をしていた子たちの中に、中学から高校になった時に再度陸上部に入る子も出てきました。

小学生の時から走る、投げる、跳ぶ、の3種類の基本動作の基礎をつくり、それを土台にして、陸上を始めとするすべてのスポーツやその他の分野で活躍する子が出てくることを夢見ながら、見守っていきたくと思っています。

(寺澤 義人)

【連絡先】〒492-8016 稲沢市赤池宮西町 93

寺澤 義人 090-9120-6701



クラブ員集合写真



練習の様子



全国大会出場の高崎さん

審判委員会

今年度のトラック & フィールド競技につきましては、11月4日の「愛知県小学生陸上競技選手権大会」を最後に、無事終了することができました。審判員の皆様のご協力に改めて感謝いたします。特に今年度は、各競技会におきまして、審判出席希望者が審判必要数を常に上回り、各大会におきまして、一部の審判員の方にはお断りをする事態となってしまいました。紙面を借りて、お詫びを申し上げます。その一方で、無断で欠席される方もやや増加いたしました。恐縮ではございますが、都合悪く欠席なされる場合には、事前に審判委員会までご連絡くださるようお願いいたします。

9月初旬には、今年度の後期審判出席調査を800名強の審判員の皆様に対象に実施いたしました。現時点で約8割の方からご回答をいただいております。前期同様、ほとんどの大会で、参加希望者は増加しています。しかしながら、「ウイメンズマラソン」、「犬山ハーフマラソン」の2大会につきましては、参加希望者が昨年を下回っています。まだ必要人数に達しておりませんので、大会までの残りの期間において、一人でも多くの方にご協力いただけるよう、何らかの働きかけをしていきたいと考えております。審判員の皆様におかれましても、参加協力の呼びかけを行なっていただければ幸いです。

今年度もまだ、多くの大会が残っています。今後ともご協力をお願いいたします。(櫻井 一美)

選手強化委員会

第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体2019)愛知県陸上競技選手団の派遣につきまして、格別のご配慮をいただき関係者一同深く感謝申し上げます。

今大会は31種目にエントリーし、18種目で入賞をしてくれました。昨年の大敗から反省と改善を繰り返し、1年かけてスタッフ一同取り組んできたことが選手にも伝わったのか、強豪愛知の存在をアピールする素晴らしい活躍でした。中でも成年男子400mHに出場した小田将矢選手(名古屋大)は、レース前半から他の7人を寄せ付けない積極的なレースを展開し、49秒42の自己新記録で見事に優勝をしてくれました。

初日は向かい風が3m近く吹く選手泣かせの1日となりました。そんな条件の中少年男子B100mで館野峻輝選手(中京大中京高)が第6位、少年女子B100mで倉橋美穂選手(中京大中京高)が第4位、少年女子A100mで井戸アビゲイル風果選手(至学館高)が第8位と、各カテゴリーの愛知を代表するスプリンター3名が入賞し、チーム愛知に勢いを与えてくれました。

2日目は成年男子やり投にキャプテン八木一憲選手(み

かん山)が登場しました。合宿からチームの団結のために積極的に声をかけながら、チームの大黒柱として動いてくれた彼が、日本選手権第8位を上回る第7位に入賞しました。愛知の明るさの中心となる投擲ブロックの盛り上がりは、この後のチーム愛知の快進撃に大きく影響したことは言うまでもありません。キャプテンに続けと少年女子共通800mで川島実桜選手(豊橋南高)が第4位、少年男子共通800mで馬場勇一郎選手(中京大中京高)が第5位となり、初日の少年B100mに続き男女アベック入賞を果たしました。この勢いは高校2年生で少年女子A走幅跳に出場していた高橋好波選手(三好高)にも力と勇気を与え、第7位に入賞し見事にインターハイの雪辱を果たしました。

3日目はフィールド勢の活躍の一日でした。少年女子共通三段跳で小寺波音選手(安城学園高)が第2位、少年女子共通やり投で田中友梨選手(至学館高)が第4位、少年男子共通走高跳で宇野琳太郎選手(安城学園高)が第6位に入賞しました。小寺選手は競技中ジャッジミスから跳躍し直しというハプニングがあり、我々スタッフにもパタパタと走り回るといふ一緒に戦う場面を作ってくれました。大雨と強風の大変難しい条件の中で、跳躍・投擲ブロックはしっかりと実力を発揮してくれました。

4日目は成年女子5000mWで矢来舞香選手(中京大)が、22分31秒94という見事な県新記録を樹立して第5位に入賞しました。この日もチーム愛知の勢いは維持したまま、矢来選手に続き少年男子A400mで富田大智選手(中京大中京高)が第3位に入賞しました。ダグアウトから登場した富田選手に声をかけた私に対し「思い切り楽しんできます」と最高の笑顔で宣言。言葉どおり前半から積極的に飛ばし、350m辺りまで他に先行しスタンドで声援を送るチームの仲間も思い切り楽しませてもらいました。この日は日本を代表するトップアスリートの福田有以選手(豊田自動織機)も成年女子5000mに登場し、ねばりの走りで見事第5位に入賞しました。フィールドではインターハイの雪辱に燃える堤 洸太郎選手(瑞陵高)が、少年男子共通やり投で第2位に入賞しました。堤選手は日本陸連強化指定であるダイヤモンドアスリートの選手を、5投目までリードする大活躍でした。

最終日は実施種目が4種目の決勝のみ。チーム愛知は少年男子B3000mと、3年ぶりにアベック決勝進出を果たした成年少年共通4×100mRの3種目での登場となりました。同時に総合得点で争う天皇杯順位が、東京都と同点の9位(7位埼玉に3点差・8位神奈川に2点差)という、国民体育大会全体の都道府県対抗を大きく左右する状態での最終日でもありました。スタンドで1種目終わるごとに得点計算をしながら、チーム愛知全員で声を枯らした必死の応援も続きました。少年男子B3000mで吉村聡介選手(豊川高)が、先輩である柳本選手の献身的なサポートを受けながら第6位、成年少年女子共通4×100mRで第1走者大城珠莉選手(至学館高)・第2走者倉橋美穂選手(中京大中京高)・第3走者柴山沙也香選手(大阪成蹊大)・第4走者井戸アビゲイル風果選手(至学館高)と、全員が11秒台で走る愛知のトップアスリートが見事なバトンワークを見せ、見事に第2位に入賞しました。

女子に続けと登場した国体最終種目成年少年男子共通4×100mRで第1走者館野峻輝選手(中京大中京高)・第2走者本郷汰樹選手(立命館大)・第3走者小田将矢選手(名

古屋大)・第4走者遠藤耕介選手(刈谷北高)で第8位に入賞しました。実はこのレースには準決勝で同タイムのチームがあったため、9チームでの決勝レースでした。男子は相次ぐ怪我により何



入賞したメンバーの一部

度もメンバー変更を繰り返し、後藤短距離主任コーチの分析・アドバイスでレース毎にバトンワークを向上しながらの、苦しい日々でした。この男子の第8位入賞で獲得した1点が、最終種目での天皇杯滑り込み8位入賞となる貴重な1点となりました。「リレーは県の競技力。リレーの強い県は、競技力も高い」を胸に、駅伝も含め常に意識をして取り組んできたチーム愛知にとって、3年ぶりの男女入賞は今後大きな自信と力を与えてくれたことでしょう。

最後になりますが、今後も本県全体の陸上競技の競技力向上と普及・発展を目標に、強化活動を推し進めていきたいと考えます。更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



愛知県選手団

(明星 光信)

記録・情報処理委員会 トラックシーズンを終えて

今年度の大会運営・記録管理へのご協力ありがとうございました。今年度は例年になく多くの県記録が誕生しております。これも選手ファーストで大会運営に当たってくださっている役員の皆様のおかげと感謝しております。記録管理面では、ほとんどの大会が電子申請に対応していただき、感謝しております。今年度より、月刊陸上への記録提供もデータ形式になっています。申請される際には、今年度の大会コードを確認して、入力をお願いします。また、特に、ハードルの規格につきましては、要項、データに100mH(76.2cm_8.0m)のように設定をお願いします。

2019年7月1日から10月31日まで、日本陸連のデータベースで確認できた県新記録。

《愛知新記録》

男子

1500m	3.39.98	田中 秀幸(トヨタ自動車)
		[ホクレンディスタンスチャレンジ第2戦深川大会(北海道) 7/9]
5000m	13.22.72	田中 秀幸(トヨタ自動車)
		[KBC-Night of Athletics (BEL) 7/20]
30kmW	2.09.17	丸尾 知司(愛知製鋼)
		[第58回全日本50km競歩高島大会(山形)途中通過時間 10/27]

50kmW 3.37.39 丸尾 知司(愛知製鋼)
[第58回全日本50km競歩高島大会(山形) 10/27]

女子

5000mW 22.31.94 矢来 舞香(中京大)
[第74回国民体育大会(茨城) 10/7]

4×100mR 45.41 愛知県
(大城珠莉・倉橋美穂・柴山沙也香・井戸アビゲイル風果)
[第74回国民体育大会(茨城) 10/8]

《愛知U20新記録》(高校新)

男子

400m 46.64 富田 大智(中京大附中京高)
[第35回U20日本陸上競技選手権(広島) 10/18]

4×100mR 39.79 中京大附中京高
(竹内大和・富田大智・神谷翔矢・河田航典)
[名古屋南北支部学年別競技会(愛知) 7/24]

4×400mR 3.10.76 中京大附中京高
(高橋遼将・稲川慧亮・鈴木大河・富田大智)
[第62回東海選手権(三重) 8/25]

女子

七種競技 5346 田中 友梨(至学館高)
[第72回全国高校総合体育大会(沖縄) 8/7]

5142 伊藤 桃子(中京大附中京高)
[第72回全国高校総合体育大会(沖縄) 8/7]

※タイ記録

男子

1500m 3.46.23 柳本 匡哉(豊川高)
[第72回全国高校総合体育大会(沖縄) 8/5]

《愛知高校新記録》

男子

300m 33.22 富田 大智(中京大附中京高)
[第7回全国高校陸上競技選抜大会(大阪) 9/1]

110mH 14.13 高橋 遼将(中京大附中京高)
[第47回名古屋地区選手権兼名古屋地区記録会(愛知) 10/6]

女子

4×100mR 45.40 中京大附中京高
(岸本優花・倉橋美穂・外園愛梨・高須鮎香)
[名古屋南北支部学年別競技会(愛知) 7/24]

300mH 43.00 神田 彩名(名城大附高)
[第13回U18日本陸上競技選手権(広島) 10/20]

三段跳 12.72 小寺 波音(安城学園高)
[第74回国民体育大会(茨城) 10/6]

《愛知中学新記録》

女子

円盤投 37.11 伊藤 圭菜(TSM)
[第47回名古屋地区選手権兼記録会(愛知) 10/6]

33.86 伊藤 圭菜(TSM)
[第1回奈良市陸協記録会(奈良) 4/21]

《外国人新記録》

女子

3000m 8.48.73 L・H・エカラレ(豊田自動織機)
[ホクレンディスタンスチャレンジ第1戦千歳大会(北海道) 7/6]

5000m 15.18.58 L・H・エカラレ(豊田自動織機)
[大阪陸協長距離第1回記録会(大阪) 10/20]

(石鎚 一則)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

8月23日(金)・24日(土)にヤンマースタジアム長居で行なわれた、第46回全日本中学校陸上競技選手権大会視察を名古屋地区陸協の報告とします。

昨年度の市総体で県大会出場を目標としていた男子4×100mRでB決勝5着に終わり、悔しい思いをしました。主な原因として、ここぞという時に向けての準備不足だと感じました。そこで、この貴重な機会においては、「準備」について見せていただきました。

今回、男子リレーの扇台中学校の一次アップと二次アップを見させていただきました。まず、印象的だったのが、選手がウォーミングアップをする姿です。ベンチではリラックスをして談笑していましたが、アップ会場に着くと、一人ひとりが自分の身体と向き合い、黙々とアップをしていました。出場する4人だけではなく、補欠も同じ雰囲気アップをしながらも器具の準備を率先して行ない、自分の役割を全うしていました。

顧問から話を聞くと、前日の予選を刺激と位置づけ、準決勝にピークをもってきているそうです。準決勝が18:20からと、普段の試合ではあまりない競技時間なので、3日前から朝・昼・夜の食事時間を決め、エネルギー不足にならないようにしていました。

一次アップは入念に、ドリルや流しを多めに行ない、100mの加速走の計測をその日の仮想第一レースと見なしていました。走ったあと、すぐにアイシングや栄養補給をして、疲労を残さないようにしていました。

顧問は選手が休んでいる間、競技場の風の確認をしました。風を読み、足長を微調整していました。招集45分前に二次アップを始め、軽くドリルや流しを行なったあと、バトン練習を1回行なっていました。

招集所の前、多くのチームが円陣を組んで、大きな声を出しているなか、静かに顧問が生徒に向けて話をしていました。バトンは一瞬の判断の誤りが大きなタイムロスや失格につながるからこそ、冷静に闘志を燃やしていたのだと感じました。

豪雨と雷による中断というアクシデントをものともせず、決勝進出を決めました。予選よりも0.5秒以上タイムを縮めました。この場で、結果を出すためには、ものすごい準備が必要だとわかりました。

この経験を必ず、これからに生かしたいと思います。

(豊國中 馬場 雄平)

尾張陸上競技協会

今年度のトラックシーズンは、不安定なまま終わることとなりました。4月の第1回尾張記録会では、初日に写真判定装置を夜遅くまで修理し、2日目を乗り切りました。6月は新しく購入していただいた跳躍測定器が、1台判定不能になりました。9月は中学新人・第3回尾張記録会において写真判定装置が作動せず、トラック種目をすべて中止せざるを得ませんでした。中学新人は代替え日を、何とか半日確保しましたが、雨に見舞われてしまいました。10月は尾張選手権大会の2日目が台風の影響で中止になり、

学校訪問③⑨ 守山東中学校 県中総体男子総合の部2位

今回は、今年の県中総体で男子が総合の部で2位に入った守山東中学校を訪問しました。守山東中学校は、今年全中総体に男子2人、女子1人が出場し、残念ながら全国ジュニアは台風の影響で2日目以降が中止となってしまいましたが、男子2人が出場権を得ていました。今年から始まった県の新人戦でも男子2人、女子2人が入賞し、女子の4×100mRでも決勝進出を果たすなど、シーズンを通して活躍しています。顧問の丹羽智行先生は、「県総体、県の通信陸上、県ジュニア、県新人と4つの県の大会で参加人数において常にトップを目指しているのだが、今年は県総体を除く3つの大会で達成できた」とおっしゃっていました。生徒に力をつけさせてすそ野が広がっているからこそ目標達成なのでしょう。そんな守山東中学校を、11月の振替休日の日に訪問しました。

学校に到着してまず驚いたことは、部員の人数でした。女子の部員に尋ねたところ、1、2年生で女子は30人とのことでした。男子はもっと多いですよとのことで、丹羽先生にお尋ねしてみると、3学年揃っていた時には男女合わせて120名ほどだったそうです。「数は力」と言いますが、部員数の多さがまずはチームの力の源になっているのだと思いました。もう一つ目を引いたことがありました。9時の練習開始とお聞きしており、8時40分頃にグラウンドに到着したのですが、その時には既に部員全員が登校しており、練習道具も全て準備が終わっていました。部員の一人に聞いてみましたが、その部員は8時ごろに既に登校していたと言っていました。何事も準備が大切なのは言うまでもありませんが、準備は道具だけではありませんでした。私が訪問した時には、各自ストレッチをするなどして本練習に備えていました。中には動き作りといった基本動作を行なっている部員もいました。これなら本練習に全力で取り組むことができるし、全力で取り組んでも故障は少ないだろうと思われました。



本練習前の準備



練習開始直後の補助練習

その練習の始まりは、前号の名古屋西高校と同様に、一般的なジョグからストレッチというものではありませんでした。練習開始の30分以上も前から集まってストレッチをしていたのですから、当然と言えば当然のことですが。すぐに補助トレーニングに入り、本練習へと進んでいきました。その中で目を引いたのは、丹羽先生ともう一人の顧問の鈴木健先生からの指示が全くと言っていいほどないことでした。練習内容は、人数が多いだけに、短・長・跳・投・ハードル・四種と細かくブロック分けされていました。ブロックごとに大まかな内容が示されていたのですが、選手たちにはそれを見るだけでどう動いていかがしっかり把握されていたのでしょう。時折、女子のキャプテンが内容の確認のために丹羽先生の元に走り寄りたり、鈴木先生が男子の一つのブロックを集めて内容の確認をしたりしていらっしやっただけでもありませんが、基本は選手自身が考えて行動しているように見受けられました。選手自らが考えて行動できるように仕向けておられるのだと思いました。だからこそ冒頭に紹介した成績を取められているのだとも思いました。

トレーニングのうえでの利点の一つ紹介しておきます。それは、名古屋市内の学校にしては割とグラウンドが広いことです。そのうえ、グラウンド全体を囲むようにして600mのアスファルト路が敷かれています。中長距離の選手が長い距離を走るのには十分ですし、短距離でも中学校ではあまり取り組めない300mのメニューを土のグラウンドの部分とアスファルトの路面を組み合わせることで行なうことができました。

それに加えて、クラブハウスに体育大会の綱引きの綱を二階の手すりから下げてサーキットトレーニングの一環を作り出したり、使用されなくなったソフトボール用（と思われる）バックネットに自転車のタイヤのチューブを結び付けたトレーニング器具もあります。先生方の工夫も練習の効率を上げているように思われました。

その他にも練習の成果に関わっていると思われるお話がありました。一つは外部コーチの存在です。後藤さんという方が一週間に2日ほど顧問の先生の手助けをしておられるのだそうです。また、管理栄養士の方が月に2度学校に来て栄養面のお話をしてくださったり、女子選手特有の症状や悩みの相談に乗ってくださっているとお聞きしました。他にも理学療法士の方が木曜日の午後の休診の日に訪れて、選手のケアに当たってくださっているのだそうです。管理栄養士の方と理学療法士の方は自分たちのキャリアアップのためということで、無償でケアに当たってくださっているとのことでした。顧問の先生の人脈といったところでしょうか。



選手の質問に答える丹羽先生

最後にもう一つ、これぞ強さの秘訣と感じたことを挙げておきます。それは、選手どうし、選手と顧問の先生方、顧問のお2人の先生との距離が非常に近いことです。多くの学校を訪問しておりますが、大抵は1年生だな2年生だなと分かるものです。しかし、守山東中においては学年によるグループが全く見受けられません。誰が上級生か誰が下級生なのか全くと言っていいほど分かりませんでした。部員全体が一つになっているという感じでした。顧問の先生どうし、先生と接する選手たちとの間にも全く距離を感じませんでした。この日は卒業生が3人練習に加わっていたのですが、丹羽先生は、入れ代わり立ち代わり参加してくれていますとおっしゃっていました。これも、顧問の先生方のお人柄によるのでしょうか。こうした雰囲気、来シーズンには4つの県大会全てで参加者数のトップを占めるという目標を達成させるのではないかと思います。グラウンドを後にしました。

(取材・文責・写真 大西敏功)



サーキットトレーニング
(ロープ登り)



サーキットトレーニング
(チューブ引き)

西尾張中学駅伝大会の予備日に急遽延期しました。いずれにおいても、審判員の方々の献身的な協力により、無事に終えることができました。心から感謝いたします。新年度に向けて、公認競技場として、このようなことがないよう県営一宮総合運動場には、強く改善を求めています。



連なる車、車

ボランティアによる車両誘導
(青山 充資)

尾張陸上競技選手権大会新・尾張新樹立者

	種目	氏名	所属	記録	備考
男子	110mH	土居 駿斗	津島高	14.83	大会新
	400mH	土居 駿斗	津島高	53.54	大会新
	4×400mR	中山 聖 滝川 修平 中山 凌 山田 祐輔	愛知教育大	3.20.67	大会新
女子	100m	近藤 七海	至学館大	12.25	大会新
	やり投	後藤 綾乃	修文女高	43.15	尾張新

西三河陸上競技協会

全国小学生交流

共通混合 4×100mR 優勝 安城 JAC
(山本 遙・神谷朱里・小野真大・山内達平)

全日本中学

男子 400m 8位 小島 颯太 (岡崎東海)
3000m 7位 松井 寛翔 (逢妻)
走高跳 7位 長谷川 豪 (碧南新川)

全国高校総体

女子 三段跳 優勝 小寺 波音 (安城学園)
円盤投 優勝 近藤 未空 (安城学園)
棒高跳 8位 渡邊 南月 (岡崎城西)

日本インカレ

男子 3000mSC 4位 川瀬 宙夢 (刈谷→筑波大)
棒高跳 3位 石川 拓磨 (岡崎城西→中京大)
砲丸投 5位 白藤 聖陽 (安城学園→日本大)
女子 400m 3位 松本 扶弥 (岡崎城西→愛教大)
1500m 6位 山本 有真 (光ヶ丘女子→名城大)
3000m 5位 山本 有真 (光ヶ丘女子→名城大)
走高跳 8位 中西 美早 (岡崎城西→日女体大)

国民体育大会

男子 走高跳 6位 宇野琳太郎 (安城学園高)
女子 走幅跳 7位 高橋 好波 (三好高)
三段跳 2位 小寺 波音 (安城学園高)

西日本を中心に記録的な大雨など不純な天候に襲われた今年の夏…、上記で紹介したように、西三河地区の小中学生から一般まで素晴らしい活躍を見せてくれました。

そして、トラックシーズンがほぼ終わった現在、すでに来年度の競技会日程や競技場の確保へ向けて交渉を進めています。本年度の厳しい暑さの影響もあり、来年度の夏場の競技日程や競技種目なども検討しています。



さて、2020年7月のオープンを目指している「岡崎市

全日本中学陸上競技選手権大会出場選手

男子 100m 田邊 隼門 (大口)
200m 岡副 周平 (古知野)
800m 岩本 響生 (古知野)
走高跳 高橋 晃永 (宮田)
棒高跳 林本 匠平 (古知野)
走幅跳 福井 篤輝 (古知野)
日比野一翔 (古知野)
女子 100mH 坂井 寿々 (甚目寺)

ジュニアオリンピック出場選手

男子C 100m 古池 功樹 (古知野)

続いて今回も尾張陸協の運営上の工夫を紹介します。実のところ尾張陸協ではなく尾張高体連の工夫なのですが、陸協と高体連は手を携えて大会を運営しておりますので、尾張陸協の工夫と言ってもよいでしょう。

近年、尾張総体、新人戦においては応援の保護者の来場が年を追うごとに多くなっています。また、車による送迎も非常に多くなっています。そのため朝の集合時間帯には競技場の入口に向かって車が列をなし、入口の南300mほど先にある幹線道路の信号まで連なってしまう状況です。入口に向けてはこの道路と直交する東側からの道路もありますが、こちらにも車が列をなし、なかなか駐車場に入れない状況が起っています。競技場には入口を入ると、右手と左手に駐車スペースがあります。左手のスペースが競技場に近いのですが、こちら側に車が集中すると渋滞は一向に解消されません。そこで、選手を送ってきただけの保護者の車を右手に流して出口に向かうよう促す看板を用意しました。また、顧問が高体連委員の一員である小牧高校にお願いして担当の生徒を2人出してもらい、車の動きに流れができるよう促してもらっています。7時15分頃から45分頃までの30分ほどの活動(写真一今年の総体の時のもの)です。こうした対応によって、車の流れはかなりスムーズなものになってきました。

競技会そのものの運営だけでなく大会運営にかかわる部分全般に目を配って、今後も大会運営がスムーズになるよう工夫を重ねていきます。

季節はロード・駅伝シーズンになります。例年、審判員不足に悩んでおります。何卒、ご協力のほど、宜しくお願いします。

龍北運動場(陸上競技場)ですが、19年3月より工事が着工され、2020年7月に完成する予定になっています。

<龍北競技場公認までの流れ>

- 2019年4月 … 実施設計図面指導
- 2019年9月 ～ 2020年5月 … フィールド整備工事
- 2020年4月 … 申請書提出
- 2020年5月 … 検定
- 2020年7月 … 公認

日本陸上競技連盟、愛知陸上競技協会の指導により、競技施設のレイアウトが変更されています。走高跳走路は東側半円部に2か所並べて設定され、風向により東西どちら方向にも跳べるようになっていきます。また、走幅跳、三段跳の助走路は、競技に応じて3つのレーンを使い分けるようにすることで、踏切板周辺のタータン部分ばかりが早期に損傷するのを抑制しています。インフィールドはサッカー、ラグビーの他、多目的利用可能の天然芝を有しています。

今後、駅伝シーズンを迎えますが、それぞれの部門での活躍を期待するとともに、この一年間競技審判にご協力いただいた審判員の皆さまに感謝申し上げます。

(太田 一弘)

東三河陸上競技協会

今年の東三河陸上界での最大の話題は、9月15日に行なわれたマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)です。MGCには、東三河ゆかりの男子4名、女子3名の選手が出場しました。私も含め東三河から多くの方々が東京に行って沿道で応援しました。その結果、豊橋出身の鈴木亜由子選手とトヨタ自動車の服部勇馬選手が見事2位でゴールし、2020東京オリンピックのマラソン代表に内定しました。

翌日から東三河の各地で、「マラソンは入場チケットがなくても沿道で応援できるから、みんなで応援に行こう!」と盛り上がっていました。私のところには、時習館高校同窓会の事務局から「亜由子選手の応援の相談をしたいので、時習館高校陸友会からも代表者を出してください」と連絡があり、快諾をしたところでした。そこに冷水を浴びせたのが、国際オリンピック委員会(IOC)のバッハ会長の「マラソンと競歩の会場は、札幌に移すことを決めた」という発言でした。私も含め、札幌まで応援に行こうかどうしようか悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。

次の話題は、中高生の活躍です。まず高校生では、沖縄で8月4日～8日に行なわれた全国高等学校総合体育大会に、4校から9名が出場を果たしました。そして、柳本匡哉選手(豊川)が男子1500mで2位、川島実桜選手(豊橋南)が女子800mで6位に入賞しました。また、茨城で10月4日～8日に行なわれた国民体育大会には4名が出場し、川島選手が女子少年共通800mで4位、吉村聡介選手(豊川)が男子少年B3000mで6位に入賞しました。

中学生では、大阪で8月21日～24日に行なわれた全日本中学校陸上競技選手権大会に、過去最多の14校からレー1チームと個人20名が出場を果たしました。そして、田中瑛一選手(田原)が男子走幅跳で4位、柴田侑選手

(南陽)が男子800mで8位に入賞しました。

今年大幅に種目が変更された全国小学生交流大会には、東三河から1名も参加することができませんでした。昨年まで8年連続で入賞者を出してきた大会でしたので、とても残念です。指導者の皆さんとともに各クラブが切磋琢磨して、再び全国大会で活躍する選手を出していきましょう。(兵藤 重二)

関係団体報告

小学生友の会

日清食品カップ第35回全国小学生陸上競技交流大会結果男子

種目	選手名	チーム名	記録
5年100m	大村 海惺	なごや陸上クラブ	14.16
6年100m	中島 悠太	TSM	12.01 (A決勝3位)
コンバインドA	坂井 大一	TSM	2366(3位)
コンバインドB	安藤 楓真	東郷AC	2111(13位)
友好100m	岡本紘太郎	安城JAC	13.56

女子

種目	選手名	チーム名	記録
5年100m	高崎 生愛	稲沢AC	14.17 (C決勝4位)
6年100m	三輪 琉姫	トライルAC	13.12 (A決勝8位)
コンバインドA	村田 愛菜	TSM	2207(3位)
コンバインドB	伊藤 優亜	愛知つばさTCA	1927(8位)
友好100m	細井 杏菜	安城JAC	13.95

混合

種目	選手名	チーム名	記録
4×100mR	山本 遥	安城JAC	50.48 (A決勝1位)
	神谷 朱里		
	小野 真大		
	山内 達平		

2019年8月10日(土)日産スタジアムにて、日清食品カップ第35回全国小学生陸上競技交流大会が行なわれました。

当日は午前9時で34度台、最高気温36度と厳しい暑さの中で自分の可能性に挑戦し、自分が主役となる大会とするべく選手は準備を整え、大会に臨みました。また、保護者や各所属の指導者・スタッフが一丸となって選手を後押ししました。全9種目中24位までに8種目で入賞ことができ、愛知県の競技力の高さが表れた結果となりました。

男子6年100mでは、中島選手が自己ベストを更新する活躍で愛知県新記録を出して3位入賞、女子6年100mの三輪選手も8位入賞と快走しました。

新種目のコンバインドでは、男子は、コンバインドA(80mH・走高跳)の坂井選手が3位、女子は、コンバインドA(同)の村田選手が3位、コンバインドB(走幅跳・ジャベリックボール投)の伊藤選手が8位と結果を残すこ

とができました。

男女混合4×100mR リレーでは、安城 JAC が他を圧倒する走りで1位となり、次年度の大会記録となるすばらしい結果を収めることができました。

将来にわたり陸上競技を続け、愛知県の陸上競技の持続的発展に寄与する人材となること、また、オリンピックで活躍する選手がこの中から生まれることを期待したいと思います。

開会式後には、安藤百福記念章授賞式が行なわれ、本年度は名古屋地区の石田 伸さんが長年の功績により、受賞しました。



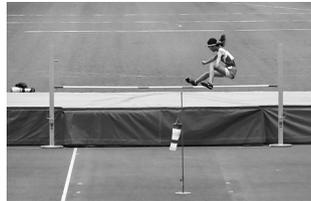
授賞式に参加する石田先生



プレゼンターとの記念写真



混合リレー優勝 安城 JAC



より高くにジャンプ!

(佐々木博幸)

中小体連

○全日本中学校陸上競技選手権大会(8/21～24 大阪)

今年度の愛知県からの出場者数は、91名(延べ103名)となり、過去最高の出場者となりました。都道府県別では、3番目の出場者数になります。

今年の大会の成績としては、男子100mにおいて東郷の香山勇輝君が第3位、男子400mにおいて岡崎東海の小島颯太君が第8位、男子800mにおいて豊橋南陽の柴田 侑君が第8位、男子4×100mRにおいて扇台(丹羽君、前島君、小島君、伊藤君)が第7位、男子走高跳において碧南新川の長谷川豪君が第7位、男子3000mにおいて逢妻の松井寛翔君が第7位、男子走幅跳において田原の田中瑛一君が第4位、女子100mHにおいて尾張旭西の坂口由花さんが第8位、女子四種競技において尾張旭西の田島七里香さんが第4位に入賞しました。その他にも愛知県選手の活躍が目される場面が多くありました。

成果の背景には、選手の努力、日々指導されている先生方の熱意と指導力、選手のご家族の支えによるところが最も大きな要因であることは言うまでもありません。また、各地区での小中学生の強化普及活動が結果となって表れてきているのではと感じます。

中体連陸上競技部としては、これからも小学校や高校の各カテゴリーとの連携を大切に、より多くの選手が全国大会に出場し、活躍できる下支えをしていきたいと強く感じております。

令和2年の全中大会は、三重県(伊勢)で開催されます。参加標準記録の引き上げはありませんが、出場制限が1人1種目に変更されます。

○今年度の新たな取り組み(託児所、ゆるキャラレース)

今年度の県通信大会、県中学総体では、競技役員のおさんさんのための託児所の設置を行ないました。保育士2名(保育士資格あり)、担当教員2名と補助員数名を配置して実施し、延べ30名ほどの利用がありました。アンケートでは、「とても助かった」「ぜひ継続してもらえるとありがたい」「費用を払ってでもお願いしたい」など、継続を希望する意見が多くありました。

県中学総体では、競技の空き時間に“ゆるきゃらレース”を実施しました。競技会全体を盛り上げる意味合いと、競技場に足を運んでくれた保護者や応援してくれる方に、少しでも陸上競技の楽しさを伝えることで、普及活動につながればとの思いで実施しました。一緒に写真を撮ったり、声援を送ったりする姿を見ることができ、和やかな雰囲気となりました。次年度以降も、今回の反省を生かしながら、いろいろな面から中学陸上界の強化と普及に努めていきたいと思ひます。

○今年度は1月11・12日に「日本陸連 U16 東海ブロック合宿」を三重県で実施します。東海4県のトップ選手160名が参加し、来年度に向けて本格的に始動します。様々な場面で関係各位にお支えいただくことになると思ひますが、引き続き、よろしくお願ひいたします。

○今年度、等々力陸上競技場(神奈川)で実施されたジュニアオリンピックですが、2日目以降は台風の接近のため中止となりました。来年度は再び日産スタジアム(神奈川)で行なわれることとなります。2021年以降の開催地については未定となっており、競技会のあり方についても変更が検討されています。

(佐橋 弘晃)

高体連

令和元年度トラックシーズンを総括して

本年度の全国総体は9年ぶりに沖縄県で開催されました。男女合わせて144名で大会に臨みました。ここ数年は150名を超えていましたが、本年度はリレー種目の減少で若干の減少がありました。それでも全国1・2位を争う有数の参加者数です。その中で、4種目で全国チャンピオンを出すことができました。また、中京大中京高校男子が学校対抗で2位、至学館高校女子が同じく2位、安城学園高校が女子総合7位、フィールド優勝を成し遂げてくれました。ご指導にあられた先生方、最後まであきらめずに精一杯頑張った選手の皆さんに心から敬意を払います。総入賞者数は男子が9種目、女子が15種目でした。

全体としては、愛知県ここにありと、大変県勢が目立つ大会でした。委員長としても、大変充実した5日間でした。台風による強風が吹き荒れ、ある意味沖縄らしい大会でありました。最終日は飛行機の欠航も出て、帰宅にもかなりの影響が出ました。いろいろな意味で印象に残る大会でした。

本年度東海高校新人大会は愛知県開催でした。パロマ瑞穂スタジアムの改修を控えて、岐阜県と開催順を入れ替わっていただきました。記録的には少々残念な面もありましたが、大きな問題もなく無事終了することができました。本年よりU20・U18日本選手権が広島県開催となり、県内で大きな大会がなかった中での開催でしたが、愛知陸

上競技協会の全面協力のもとしっかりした運営ができたと思います。来年度の東海高校総体に向けてもしっかり準備をしていきたいと思ひます。

U20・U18 日本選手権では中京大中京の富田選手が U20 男子 400m で優勝しました。気温が低い中での大会でありましたが、インターハイ、国体でもう一步のところで優勝を逃してしましたので、うれしい結果となりました。

愛知県高校駅伝は諸般の事情からコースの変更を余儀なくされることとなりました。一宮市をはじめ関係諸機関や委員の皆さま方のご協力のもと、7月から打ち合わせや準備に多大なる時間をかけていきました。大会日程も変更せざるをえなくなり、他の大会にも影響が出てしまいました。各方面の皆様のご協力に心から感謝いたします。無事に大会が終了しましたのも皆様方のご協力のおかげです。

また、本年度は男子の記念大会です。東海大会に出場する男子の代表校には、地区代表枠を勝ち取っていただきたく強く願ひます。

今年から鉄剤注射についての検査が、全国大会出場校には義務付けられます。選手の身体を守るうえで大切なことでもあります。

来年度の全国総体は静岡県で行なわれます。来年度も個人種目でのチャンピオンの誕生と多くの入賞者、出場者を目指し、陸協強化委員会とも協力をしながら努力をしていきたいと思ひます。

(石井 哲郎)

高体連定通部

全国高等学校定通制陸上 男女総合5連覇!

～やっぱり愛知は強かった!～

おかげさまで5年連続24回目の男女総合優勝を果たし

ました。事前の予想では兵庫県に差を付けられる苦しい展開を覚悟していましたが、初日からそんな心配を吹き飛ばす活躍を見せてくれました。初日の男子4×100mRでの優勝を始め、良い流れに乗って最終日まで100%以上の力を発揮しました。科技高刈谷勢の力が大きいことは明白ですが、その他の選手も十分に力を出し切り、好結果を得たと思ひます。

男子では400mHの橋本陸馬選手(科技高刈谷3)が54秒70の大幅な大会新記録で優勝。4×100mR、4×400mRと合わせて3冠を達成し、優秀選手にも選出されました。5000mの山本空人選手(科技高刈谷3)はラスト100mのデッドヒートを制し、初優勝。走高跳の清水源樹選手(科技高刈谷2)は走高跳で2連覇。今年は走幅跳も制して2冠獲得となりました。100mでは坂本陽斗選手(飛鳥未来1)が優勝。5月から競技を始めたばかりで荒削りですが、持ち前の筋力を生かした素晴らしい走りでした。その他、男子は多くの選手が入賞し、男子総合優勝を果たすなど今回は男子の強さが光りました。

女子では400mの森なつ実選手(飛鳥未来3)が優勝。200m3位、4×100mR4位と女子を引っ張りました。井上アリスマリエ選手(旭丘2)は走高跳で1m54をクリアし、優勝。1m45で失敗が続き、追い詰められる場面もありましたが、修正して見事に成功すると、1m54まで1回でクリア。勝負強さが際立つ選手でした。

さて、今回の好結果にはいくつかの要因があります。選手の頑張りは当然ですが、第一に各校の先生方がしっかりと選手を指導し、全国大会のスタートラインに立たせたことです。当たり前のことですが、定通制の場合はこの当たり前が難しいのです。愛知県は誰一人欠けることなく、スタートラインに立って力を発揮しています。個性豊かな選

ホーブさん ④

高橋 ^{りょうすけ} 遼将 選手 (中京大中京高)

110mH (14.13) と 400mH (51.32) 高校1年生歴代1位記録を今シーズン更新した高橋遼将選手は「規格外」との評価を頂いています。本校卒業生でアテネ・北京オリンピックに出場した110mH元日本記録保持者の内藤真人選手が高校3年時にマークした14.25も更新しました。瑞穂のスタンドで他を圧倒するレースを観れば誰もが規格外の強さと感じるでしょう。県内や国内のみに焦点を絞れば「規格外」の選手でしようが、ワールド・スタンダード(世界基準)として目を向ければこのレベルからスタートしないと、世界の強豪に伍して行けないでしょう。ドーハで開催された世界選手権においても10代の選手のファイナル進出や日本選手もダイヤモンドアスリートの活躍が目立ってきました。

日本代表を争うハードル選手のレベルアップは近年目覚ましいものがあり、それに呼応するようにジュニア選手の記録も向上してきています。全国大会決勝では男女共13秒台が当たり前になっており、12秒台に近づきつつあります。高橋選手の持つ視点はそのレベルに向いており、到達に向けて邁進しています。高橋選手には今後出現すると予想される課題に対応するため海外経験をさせ、グローバル・スタンダードを心身ともに根付かせる必要があります。当面国内での評価を高めダイヤモンドアスリートとして認定を受ける方法やアメリカの大学留学を視野に入れる方法も考えられます。そのためには2020年に開催されるIAAF U20世界選手権出場が目標です。

2003年カナダのシェルブルックで開催された世界ユース選手権でアメリカ代表のジェイソン・リチャードンソンがIAAF主催大会で史上初のハードルダブルチャンピオンとなりました。ハードルの高さがユース規格であるものの110mH (91.4cm) 13.29、400mH (84cm) 49.91と素晴らしい記録をマークし、その後世界大会で活躍した選手です。

当面ダブルハードラーとして高橋選手は参戦する予定です。来シーズンはこのリチャードソン選手を基準として記録を狙います。

(北村 肇)



U18 300mH 優勝



東海総体2冠の喜び

手を上手に指導してくださっているおかげです。

そして2つ目に、関係各位から定通制へのご理解とご協力をこれまで以上にいただいたことです。毎年6月の県大会から8月の全国大会まで試合に出ることのない選手が多いことから、今年度は7月末の知多尾張地区ジュニア記録会に初めて出場させていただきました。この記録会でベスト記録を更新する選手もあり、試合勘や自信を高めたまま東京に向かうことができました。この出場に関しまして、稲垣専務理事を始め愛知陸協の皆様、高体連陸上競技専門委員長の石井先生、知多支部の小野田先生、尾張支部の藤田先生には特に世話になりました。前例のないことでしたが、相談に乗っていただき、快くお引き受けくださいましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

また来年もこの紙面で良い報告ができるように取り組んでいこうと思います。ありがとうございました。



やっぱりみんなは強かった！5連覇おめでとう！

(野口 武則)

学連

勢力変動が見られ始めた2019年学生陸上競技会

新国立競技場の改修期間中、日本インカレは隔年周期で首都圏と地方で開催されており、2019年大会は岐阜を舞台に学生No.1をかけた戦いが繰り広げられた。過去、インカレ会場が東海地区だったのは、昭和56(1981)年に開催日程を2つに分けた「国立・岐阜」のほか、昭和47(1972)年に瑞穂(現パロマ)にて開催された記録が残っている。

ユニバーシアードと世界選手権の開催年となった今大会は、各種目で日本の陸上競技界を代表する選手たちの活躍も期待され、例年どおり話題性のある大会であった。対校順位は、相変わらず関東地区の大学が上位を占めたが、一時期の中央集中型の選手層から種目間で勢力図の変化がみられ、男子フィールドや女子トラック種目では関西勢をはじめとした選手の活躍が目立った。特に800m以上の女子中長距離種目は全て京都産業大や立命館大などの関西勢が制し、過去5年間東海勢が勝っている10000mWでは、今回の矢来舞香選手(中京大3)の優勝で6年連続東海地区の選手がタイトルを獲った。その内訳は全て中京学院大と中京大であるのも興味深い。男子においては、伊藤 陸選手(近大高専4)が三段跳でU20日本新記録となる16m34で優勝。開催地出身の赤松諒一選手(岐阜大・院2)は、学部時代から3回目の優勝を果たした。ハンマー投でも古旗崇裕選手(中京大・院1)が優勝しており、どちらの選手も技術的な成熟度がパフォーマンスに影響する種目ならではの活躍だったのではないだろうか。

トラックからロードへ上手くシフトした名城大学は、全

日本大学女子駅伝(仙台、10/27)で3年連続4回目の優勝を果たした。ユニバーシアード代表選手も含む名城大のシーズンを通して高いパフォーマンスを維持できるコンディショニングには学ぶことが多い。東海地区選考会にて中京大の12年連続35回目の出場を阻んで初の出場権を得たもう一つの地区代表校、中京学院大学は18位であった。熱田神宮をスタートし伊勢神宮をフィニッシュする第51回全日本大学駅伝では、女子と異なり首都圏大学が上位を占める結果となった。東海地区代表の皇學館大学は19位、愛知工業大学は21位となり、17位以上に入ると地区学連別の参加枠が増える条件を満たすことができず、2020年大会の東海地区からの出場枠は1枠となってしまった。以上、各種目間で学生陸上競技の勢力図に変化が見え始めたトラック&フィールドシーズンであった。(黒須 雅弘)

実業団

来年の東京五輪、実業団から2名内定

愛知の実業団に所属している選手から、マラソンの服部勇馬選手(トヨタ自動車)、20km競歩の山西利和選手(愛知製鋼)の2名が東京五輪の出場権を勝ち取りました。

服部選手は、今年度より採用された標準記録突破者から2名の内定が出るマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)に出場し、見事第2位の成績を収め、東京オリンピック出場に内定しました。



マラソンMGCで力走する服部選手(右から2人目)



スポーツ庁の鈴木長官から祝福される服部選手と佐藤監督

また、カタールのドーハで開催された世界陸上において、20km競歩の山西選手が2位を大きく引き離して金メダルを獲得し、東京オリンピック出場の内定を勝ち取りました。



日の丸を掲げる山西選手



他を大きく離す歩き(中村 博之)

マスターズ陸上

毎年4回開催している愛知マスターズ記録会も、皆様のご協力により無事終了することができました。今年で通算75回目の開催となって参加者も年々増加傾向にあり、特に事前申込みも県外を含めて増加しております。そのため当日受付は、会場に来ていただいた方には種目によってはお断りすることも発生しております。主催者としては誰も

が気軽に陸上競技を楽しんで貰いたいとの趣旨でスタートした記録会ですが、今後の嬉しい課題として捉えております。

第40回記念国際・全日本マスターズ陸上競技大会が、群馬県の正田醤油スタジアムで9月13日～16日まで4日間開催されました。4日間は今回が初となり、エントリー数も海外9ヶ国(77名)を含め2,231名と過去最高となりました。愛知県からは125名(男性100名・女性25名)がエントリーしました。成績



最優秀選手賞の金子葉子さん、最優秀選手賞を愛知県が昨年の中山さんに続いて金子葉子さん(名古屋市)が受賞し、更には日本記録や大会記録を更新する選手が続出する中、女性の活躍が目立つ結果となりました。年代別種目で1位の方は下記の選手になります(NR:日本新、GR:大会新)。トラック競技では、M50 小高孝二、M30 横井佑哉、M25 道脇大斗、W60 中山淳子、W55 金子葉子(最優秀選手賞受賞 100m NR・GR、200m NR・GR、400m GR)、W50 宮本百合(400m GR)、W50 濱村由佳、W45 酒井あおい(200m GR)、W25 野村祥花、W24 伊藤里帆(400m GR)、フィールド競技では、M75 山田博嗣、M70 児玉明、M65 中村勉、M50 中根裕司、M45 松原憲治、M40 花井章宏、M25 道脇大斗、W60 木村和代(立五段跳 NR・GR)、W55 山田美智、W55 八代香津子(やり投 NR・GR)、W45 豊廣里子、W45 浅井紀子、M55 奥山雄一、畠中一起、杉浦拓、都築大(4×100mR NR・GR)、W50 谷寄好美、宮本百合、八代香津子、金子葉子(4×100mR)、W24 宮下秋穂、伊藤里帆、山崎めぐみ、酒井あおい(4×100mR NR・GR)。

第32回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝が昨年に引き続き愛知県の愛・地球博記念公園で開催されます。地元愛知県からは対抗の部と交流の部でそれぞれ3チーム(男子・女子・エルダー)32名が出場します。目標として男子チームは3年連続優勝、女子チームは昨年2位から今年は優勝、エルダーチームは3位以内を目指しています。皆様のご声援を宜しくお願い致します。また愛知県での開催にあたり愛知陸上競技協会をはじめ審判員の皆様や各団体関係者の方々には昨年同様多大なご支援をいただき本年も開催できますことを厚くお礼申し上げます。駅伝の各部門出場者は以下になります。

対抗の部【男子】川畑憲三(知多郡)、下川勝彦(豊田市)、中野哲也(名古屋市)、池田昌雄(春日井市)、近藤直樹(知多郡)河野宏樹(豊橋市)【女子】古川千歩(知多郡)、長坂恵子(豊田市)、後藤陽子(尾張旭市)、坂川真由美(一宮市)、鈴木可奈子(知立市)、【エルダー】林啓海(尾張旭市)、館栄二(稲沢市)、帶山常行(豊田市)、中山淳子(名古屋市)、中山史信(名古屋市)。

交流の部【男子】柴田裕康(岡崎市)、小伊勢英樹(日進市)、井上和男(豊田市)、伊藤勇(知多郡)、高木大(豊田市)、山口了平(大府市)、【女子】濱村由佳(みよし市)、横山龍子(あま市)、渡辺幸江(尾張旭市)、碓井由紀子(豊川市)、下川友美(豊田市)、【エルダー】光村さとみ(東海市)、河原善高(名古屋市)、小早川和民(岡崎市)、長尾典子(岡崎市)、木村昌盛(名古屋市)以上

(下川 勝彦)

OB・OG会

OB・OG会の秋の行事は、今年も11月7日(木)名古屋・大須演芸場において33名の参加者で「日本の芸能鑑賞会」を実施しました。当日は少々遅めの昼食を大須商店街の鰻料理の老舗「やっこ」でいただき、大須演芸場の午後の部を鑑賞しました。普段の日常生活や陸上競技から少し離れ、ちょっと贅沢で至福の時間を会員の皆さんと共にできた楽しい一時でした。

さて、年明け1月23日(木)には「新春懇親会」を蒲郡で開催するよう計画と準備をしております。参加をお待ちしています。また、随時「新会員の募集」をしております。事務局までお問い合わせください。



大須演芸場前にて

(水野 久)

競技会報告

第79回愛知陸上競技選手権大会
兼第62回東海陸上競技選手権大会予選会
兼第74回国民体育大会選手選考競技会
2019年7月14日(日)・15日(月) パロマ瑞穂スタジアム

男子

(GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	本郷 汰樹 10.50 立命館大	若杉 俊佑 10.69 中京大	杉本 大騎 10.71 中京大
200m	伊里 洋海 21.17 関西学院大	佐藤 智博 21.21 中京大	若杉 俊佑 21.27 中京大
400m	小久保友裕 46.78 早稲田大	村木 渉真 47.08 早稲田大	吉津 拓歩 47.08 東洋大
800m	鹿居 二郎 1.53.57 亜細亜大	中島 慎哉 1.54.18 岐阜協立大	渡邊 凌太 1.54.92 南山大
1500m	柳本 匡哉 3.48.65 GR 豊川高	沖田 龍誠 3.50.39 GR 岐阜協立大	大上 颯麻 3.52.53 東京国際大
110mH (1.067m)	山本 健太 14.25 中京大	角田 涼一 14.67 TNP	岩堀 剛己 14.68 名古屋高
400mH (0.914m)	小田 将矢 49.94 名古屋大	真野悠太郎 51.18 名古屋大	伊奈 颯太 51.39 城西大

走高跳	道脇 大斗 2.14 エニスポ	宇野琳太郎 2.11 安城学園高	鈴木 雅貴 2.08 至学館大
棒高跳	石川 拓磨 5.20 中京大	小木曾 光 5.10 中京大学	鈴木 康太 5.00 日体大
走幅跳	南 晋太郎 7.52 中京大クラブ	渡邊圭一郎 7.50 トヨタ自動車	木村 友紀 7.26 愛知陸協
三段跳	西田 彪人 14.98 名城大	伊藤 裕也 14.89 名古屋大	加藤 準也 14.86 法政大
砲丸投 (7.260kg)	戸澤 廣哉 16.23 中京大	白藤 聖陽 15.32 日本大	今 祐太 13.90 豊田自動織機
円盤投 (2.000kg)	中井 康二 46.44 中京大	久保 博規 45.47 Spirits	戸澤 廣哉 45.02 中京大
ハンマー投 (7.260kg)	墨 訓熙 68.99 小林クリエイト	古旗 崇裕 66.87 中京大	久保 浩司 59.42 Spirits
やり投 (0.800kg)	八木 一憲 73.57 みかん山	藤垣 諒 67.57 至学館大	牧野 快士 66.45 日体大

最優秀選手 墨 訓熙 (小林クリエイト)

女子

(GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	井戸アビゲイル風果 11.92 至学館高	大城 珠莉 11.95 至学館高	柴山沙也香 12.15 大阪成蹊大
200m	大城 珠莉 24.06 GR 至学館高	井戸アビゲイル風果 24.20 至学館高	村木 未澪 24.44 安城学園高
400m	松本 扶弥 55.93 愛知教育大	木下 慶乃 56.52 愛知高	近藤 七海 57.06 至学館大
800m	川島 実桜 2.10.56 豊橋南高	藤井 亜子 2.11.12 至学館大	青山 理奈 2.11.15 中京大中京高
1500m	磯部 早良 4.35.86 安城学園高	下山田絢香 4.36.06 椋山女学園大	内田 妃 4.36.60 岡崎学園高
100mH (0.838m)	伊藤瑠莉彩 14.03 中京大	大松 由季 14.04 TIS	安藤 愛未 14.04 至学館高
400mH (0.762m)	北野 有紀 1.00.03 愛知教育大	佐竹 里野 1.00.76 明和高	永野 朱音 1.00.91 西春高
走高跳	小笠原早矢楓 1.71 甲南大	兼川 乃衣 1.71 日女体大	中西 美早 1.68 日女体大
棒高跳	水上 真里 3.70 中央大	渡邊 南月 3.70 岡崎城西高	塩崎 泉 3.70 筑波大
走幅跳	明星 光 5.87 中京大	伊藤 桃子 5.71 中京大中京高	富塚日南々 5.66 立教大
三段跳	浅野紗弥香 12.44 TIS	平松 紗季 11.75 中央大	加藤 早紀 11.68 小島プレス
砲丸投 (4.000kg)	近藤 沙南 13.19 中京大	丹嵐あやめ 12.83 鹿屋体大	平岩 志萌 12.22 旭野高
円盤投 (1.000kg)	川口 紅音 44.08 日体大	近藤 未空 43.36 安城学園高	平野 優花 41.72 日体大
ハンマー投 (4.000kg)	大久保春香 52.41 岐阜協立大	木下 七海 52.30 旭野高	金子 明奈 51.43 流経大
やり投 (0.600kg)	石垣 綾香 52.04 中京大	西山 育未 50.18 ゼビオ	田中 友梨 46.52 至学館高

最優秀選手 大城 珠莉 (至学館高)

第65回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
兼第46回全日本中学校陸上競技選手権大会愛知県予選会
兼第74回国民体育大会選手選考競技会 (少年B・共通)
2019年7月20日(土)・21日(日) ハロマ瑞穂スタジアム

男子(GR:大会新 HK:標準記録突破 =HK:標準記録タイ)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	宮崎 遥士 12.15 鳴子台	久野 聡 12.32 上郷	高井 佑太 12.36 富貴
2年 100m	猪上 詞穂 11.78 東港	古池 功樹 11.90 古知野	柳瀬 功貴 11.95 末野原
3年 100m	浅井 駿輝 11.17 HK 神の倉	岩田 航輝 11.21 平坂	香山 勇輝 11.27 東郷
200m	岩田 航輝 22.56 HK 平坂	高橋 大地 22.66 HK 駒方	万前 瑞葵 22.68 HK 知立
400m	小島 颯太 50.76 HK 岡崎東海	橋本 結友 51.78 豊橋東陵	浅岡 来羽 51.80 青陵
800m	山田 直希 1.59.87 HK 上郷	林 秀吉 2.02.13 岡崎東海	山田 幸音 2.02.48 守山東
1年 1500m	佐々木 哲 4.33.17 愛工大名電	豊田 雄大 4.33.65 一宮南部	松本 悠雅 4.33.97 竜南
1500m	松井 寛翔 4.05.53 HK 逢妻	柴田 侑 4.05.92 HK 豊橋南陽	大岩 蓮 4.06.21 HK 東港
3000m	平井 翼 8.53.48 HK 尾張旭西	松井 寛翔 8.55.04 HK 逢妻	阿知和優汰 8.55.44 HK 横須賀
110mH (0.914m)	加藤 信太 14.98 HK 西枇杷島	江崎 光輝 15.15 高蔵寺	杉山 湧騎 15.30 豊川中部
4×100mR	扇台 43.72 丹羽 皓星 前島 和歩 小島 拓真 伊藤 大翔	古知野 43.95 古池 功樹 日比野一翔 福井 篤輝 岡副 周平	本郷 44.26 右高 空央 鈴木 鳳介 長坂凜之介 茂木 貴哉
走高跳	高木 翔大 1.88 HK 大府西	渡辺 輝一 1.85 =HK 桜田	高橋 晃永 1.82 宮田
棒高跳	林本 匠平 4.00 =HK 古知野	田邊 悠馬 3.60 大口	前川 祐也 3.60 代田
走幅跳	田中 瑛一 6.93 GR HK 田原	福井 篤輝 6.78 HK 古知野	日比野一翔 6.70 HK 古知野
砲丸投 (5.000kg)	大沼 弘人 13.26 HK 高蔵寺	佐藤 喜嗣 12.85 羽田	加藤 大惺 12.36 鎌倉台
四種競技	川口 遥己 2503 HK 武豊	洞井 縁 2208 知多知多	鈴木 權斗 2162 坂下

女子(GR:大会新 HK:標準記録突破 =HK:標準記録タイ)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	佐藤 俐有 12.68 田原東部	眞田 あこ 13.12 章南	松岡 実佑 13.16 名古屋南陽
2年 100m	片山 心菜 12.52 HK 城北	林 美希 12.60 翔南	中澤 愛菜 12.93 弥富北
3年 100m	森山 夢菜 12.87 豊橋南陽	中島 明香 12.91 扇台	榊原 詠美 13.05 乙川
200m	中島 明香 25.97 扇台	中野 知咲 26.09 東栄	井貝 華央 26.43 祖父江
800m	内山 由菜 2.16.24 HK 逢妻	相場 茉奈 2.16.60 豊橋南陵	野村 美結 2.27.42 春日井西部

1500m	田島 愛梨 4.33.99 HK 横須賀	小嶋 聖來 4.34.18 HK 六ツ美北	林 那優 4.34.67 HK 一宮
100mH (0.762m)	坂口 由花 14.11 HK 尾張旭西	林 美希 14.44 HK 翔南	田島七里香 14.50 HK 尾張旭西
4×100mR	田原東部 49.40 高津 采里 佐藤 俐有 石倉 実侑 菅沼 瑠璃	上郷 49.87 糸田 美友 伊藤 風香 藪下 結乃 森下 愛梨	守山西 50.15 江口 七海 水軒 沙綾 袁 瞳 加藤 涼音
走高跳	鈴木 菜美 1.60 =HK 六ツ美北	1.57 塚本 愛琉 吉根 村松 優 平坂	
棒高跳 (オープン)	草野 咲蕾 2.80 鬼崎	黒木 日和 2.60 知多知多	松本 希 2.60 鶴城
走幅跳	田島七里香 5.64 HK 尾張旭西	松村 琴都 5.57 HK 南城	石川 凜 5.46 HK 平坂
砲丸投 (2.721kg)	小原 恵 14.61 GR HK 大高	山田 真央 13.27 HK 御幸山	岡崎 真帆 12.62 HK 守山東
四種競技	中西百萌佳 2712 HK 水無瀬	春日 凜 2496 東港	今井 亜美 2449 前林

低学年 4×100mR	扇台 46.90 田中 駿成 西垣 俐玖 松尾 晃成 竹居 宇宙	逢妻 46.95 横道 絢 川島 孝史 森本 ハル 松山 大輝	古知野 46.97 高田裕二郎 村瀬 優人 角田 拓真 古池 功樹
走高跳	一色 新太 1.91 HK 豊岡	渡辺 輝一 1.82 桜田	長谷川 豪 1.79 新川
棒高跳	林本 匠平 3.80 古知野	前川 祐也 3.80 代田	田邊 悠馬 3.60 大口
走幅跳	田中 瑛一 6.87 HK 田原	福井 篤輝 6.51 古知野	渡久地 海 6.42 守山東
砲丸投 (5.000kg)	大沼 弘人 12.99 高蔵寺	加藤 大惺 12.64 鎌倉台	佐藤 喜嗣 12.49 羽田
四種競技 (オープン)	洞井 緑 2307 知多知多	武田 眞哉 2068 弥富	大武 喜道 1944 東浦北部

女子 (GR:大会新 HK:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	佐藤 俐有 12.54 GR 田原東部	眞田 あこ 12.84 章南	松岡 実佑 13.03 名古屋南陽
2年 100m	林 美希 12.40 HK 翔南	片山 心菜 12.44 HK 城北	嶋 結菜 12.71 高豊
3年 100m	藤井 鈴奈 12.57 岡崎南	井貝 華央 12.60 祖父江	近藤 世菜 12.68 日進西
200m	中島 明香 25.75 HK 扇台	森山 夢葉 25.81 豊橋南陽	中野 知咲 25.90 東栄
1年 800m	野村 美結 2.22.38 春日井西部	寺戸 彩純 2.23.75 大府西	江藤 柚葉 2.24.11 刈谷東
800m	小山 心結 2.15.48 HK 六ツ美北	鈴木 愛菜 2.15.69 HK 六ツ美北	壁谷 衿奈 2.17.19 竜海
1500m	田島 愛梨 4.35.23 HK 横須賀	林 那優 4.36.18 HK 一宮	小嶋 聖來 4.36.87 HK 六ツ美北
100mH (0.762m/8m)	坂口 由花 13.89 GR HK 尾張旭西	坂井 寿々 14.16 GR HK 甚目寺	榊原 詠美 14.19 GR HK 乙川
4×100mR	田原東部 48.72 高津 采里 佐藤 俐有 石倉 実侑 菅沼 瑠璃	上郷 48.93 糸田 美友 伊藤 風香 藪下 結乃 森下 愛梨	吉良 49.64 浅井 知慧 加藤 未華 古田 陽菜 加藤 由華
低学年 4×100mR	田原 50.90 GR 西尾帆乃花 岡田 翠 渡邊 栞夏 伊藤 千夏	古知野 51.11 GR 鈴木 里歩 林 夏穂 竹内 由奈 青山 和奏	青陵 51.58 長崎 心美 近藤 綾音 加藤 愛菜 野末 知里
走高跳	鈴木 菜美 1.63 HK 六ツ美北	橋本 花音 1.57 HK 河和	矢野 夏希 1.54 章南
走幅跳	菅沼 瑠璃 5.42 田原東部	松村 琴都 5.40 南城	石川 凜 5.21 平坂
砲丸投 (2.721kg)	小原 恵 14.32 GR HK 大高	山田 真央 12.98 HK 御幸山	岡崎 真帆 12.76 HK 守山東
四種競技 (オープン)	今井 亜美 2503 前林	伊藤 圭菜 2486 春日井西部	春日 凜 2409 東港

第73回愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会
2019年7月28日(日)・29日(月) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (HK:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	高井 佑太 12.03 富貴	宮崎 遥士 12.04 鳴子台	久野 聡 12.07 上郷
2年 100m	田中 颯太 11.54 六ツ美	猪上 詞穂 11.56 東港	柳瀬 功貴 11.61 末野原
3年 100m	浅井 駿輝 11.11 HK 神の倉	香山 勇輝 11.12 HK 東郷	伊藤 大翔 11.32 扇台
200m	岩田 航輝 22.46 HK 平坂	万前 瑞葵 22.50 HK 知立	高橋 大地 22.54 HK 駒方
400m	小島 颯太 50.87 HK 岡崎東海	浅岡 来羽 51.66 青陵	橋本 結友 51.69 豊橋東陵
800m	柴田 侑 1.57.81 HK 豊橋南陽	山田 直希 1.58.36 HK 上郷	金田 健慎 1.58.37 HK 豊橋中部
1年 1500m	佐々木 哲 4.32.83 愛工大名電	松本 悠雅 4.33.32 竜南	白井 春輝 4.33.53 野間
2年 1500m	杉田 晃大 4.17.51 竜海	仲井 蓮人 4.21.28 羽田	野田 新太 4.24.96 北方
3年 1500m	大岩 蓮 4.08.09 HK 東港	松井 寛翔 4.08.47 HK 逢妻	平井 翼 4.08.52 尾張旭西
3000m	阿知和優汰 9.18.92 横須賀	夏目 拓 9.23.54 豊橋南部	高山 瑞士 9.24.69 竜南
110mH (0.914m)	加藤 信太 14.55 HK 西枇杷島	澤田 憲佑 14.78 HK 鎌倉台	白井 大翔 15.02 羽田
4×100mR	扇台 43.27 丹羽 皓星 前島 和歩 小島 拓真 伊藤 大翔	古知野 43.46 倉橋 良実 日比野一翔 福井 篤輝 岡副 周平	大口 43.90 築地 洗希 田邊 隼門 社本峻一郎 伊藤 康成

学校対抗総合順位

	1位	2位	3位
男子	古知野	守山東	扇台
女子	六ツ美北	田原東部	平坂

令和元年度全国高等学校総合体育大会
秩父宮賜杯第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
2019年8月4日(日)～8月8日(木) 那覇市タピック県総合ひやごんスタジアム

男子 (GR:大会新)

種目	順位	記録	選手名	学校名
400m	4	47.05	富田 大智	中京大中京
800m	3	1.52.75	馬場勇一郎	中京大中京
1500m	2	3.46.23	柳本 匡哉	豊川
400mH	7	55.14	高橋 遼将	中京大中京
4×100mR	1	39.91 GR	竹内 大和	中京大中京
			富田 大智	
			神谷 翔矢	
			河田 航典	
4×400mR	2	3.15.55	神谷 翔矢	中京大中京
			稲川 慧亮	
			高橋 遼将	
			富田 大智	
4×400mR	7	3.19.11	大崎 寛	瑞陵
			水谷 冠太	
			永田 智也	
			竹内 彰基	
三段跳	8	14.87	森澤 翔尉	中京大中京
やり投	7	61.77	堤 洸太郎	瑞陵

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100m	6	11.78	井戸アビゲイル風果	至学館
200m	3	23.79	井戸アビゲイル風果	至学館
	8	24.32	大城 珠莉	至学館
800m	6	2.10.25	川島 実桜	豊橋南
100mH	5	14.36	安藤 愛未	至学館
4×100mR	2	45.73	岸本 優花	中京大中京
			倉橋 美穂	
			外園 愛梨	
			高須 鮎香	
4×100mR	3	45.79	安藤 愛未	至学館
			大城 珠莉	
			中西 楓夏	
			井戸アビゲイル風果	
棒高跳	7	3.70	浦津なのの	中京大中京
	8	3.70	渡邊 南月	岡崎城西
三段跳	1	12.81	小寺 波音	安城学園

円盤投	1	46.50	近藤 未空	安城学園
ハンマー投	4	52.06	木下 七海	旭野
やり投	2	50.47	田中 友梨	至学館
七種競技	1	5346	田中 友梨	至学館
	4	5142	伊藤 桃子	中京大中京

第41回東海中学校総合体育大会陸上競技大会
2019年8月9日(金) 三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場

男子 (3位入賞者)

種目	順位	記録	選手名	学校名
2年100m	3	11.84	猪上 詞穂	東港
3年100m	1	11.15	香山 勇輝	東郷
400m	1	49.46	小島 颯太	岡崎東海
800m	3	2.00.58	山田 直希	上郷
2年1500m	1	4.19.99	杉田 晃大	竜海
	3	4.21.50	仲井 蓮人	羽田
3年1500m	2	4.10.45	松井 寛翔	逢妻
110mYH	3	14.58	加藤 信太	西枇杷島
低学年 4×100mR	2	46.44	高田裕二郎	古知野
			村瀬 優人	
			角田 拓真	
			古池 功樹	
4×100mR	3	43.38	丹羽 皓星	扇台
			前島 和歩	
			小島 拓真	
走高跳	3	1.80	清水 翔	今池
			長谷川 豪	新川
走幅跳	2	6.69	田中 瑛一	田原
砲丸投	2	13.14	大沼 弘人	高蔵寺

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
1年100m	1	12.60	佐藤 俐有	田原東部
	3	12.98	眞田 あこ	章南
2年100m	2	12.51	片山 心菜	城北
1年800m	1	2.18.67	野村 美結	春日井西部
100mH	1	14.28	坂口 由花	尾張旭西
	3	14.30	榊原 詠美	乙川

低学年 4×100mR	1	51.26	西尾帆乃花	田原
			岡田 翠	
			渡邊 葉夏	
			伊藤 千夏	
	3	51.64	長崎 心美	青陵
			近藤 綾音	
			加藤 愛菜	
			野末 知里	
走高跳	3	1.58	村松 優	平坂
			橋本 花音	河和
走幅跳	1	5.65	菅沼 瑠璃	田原東部
砲丸投	3	13.83	小原 恵	大高

400m	1	森 なつ実	飛鳥未来名古屋	1.04.06
800m	5	尾崎 心花	科技刈谷	2.40.39
100mH	3	八田 彩伽	科技刈谷	17.13
	4	井上アリスマリエ	旭丘	17.34
4×100mR	4	八田・土川・森・近藤 (選抜)		55.35
走高跳	1	井上アリスマリエ	旭丘	1.54
走幅跳	3	赤川 真白	起工	4.61

男女総合：優勝 186点 (5年連続24回目の優勝)

男子総合：1位 129点

男子トラックの部：1位 79点

男子フィールドの部：1位 50点

女子総合：3位 57点

女子トラックの部：2位 42点

女子フィールドの部：4位 15点

第54回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会

2019年8月10日(土)～12日(月) 駒沢オリンピック公園陸上競技場

男子

(GR：大会新)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	1	坂本 陽斗	飛鳥未来名古屋	11.46
400m	2	原田 登生	ルネサンス豊田	52.86
	3	綾部 俊哉	科技刈谷	52.90
1500m	3	大曾根魁志	科技刈谷	4.17.28
5000m	1	山本 空人	科技刈谷	16.23.08
400mH	1	橋本 陸馬	科技刈谷	54.70 GR
3000mSC	3	大曾根魁志	科技刈谷	10.10.43
	5	浅田 明良	科技刈谷	11.19.56
4×100mR	1	伊藤・坂本・橋本・新實 (選抜)		43.62
4×400mR	1	金子・綾部・橋本・原田 (選抜)		3.28.98
走高跳	1	清水 源樹	科技刈谷	1.96
	2	石川 丈真	旭陵	1.84
走幅跳	1	清水 源樹	科技刈谷	6.78
	2	角田 侑哉	科技刈谷	6.74
三段跳	3	角田 侑哉	科技刈谷	12.57
砲丸投	4	瀬戸口絢世	城北つばさ	10.69
円盤投	2	瀬戸口絢世	城北つばさ	32.00

女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
200m	3	森 なつ実	飛鳥未来名古屋	28.40

第46回全日本中学校陸上競技選手権大会

2019年8月21日(水)～24日(土) ヤンマースタジアム長居

男子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100m	3	11.07	香山 勇輝	東郷
400m	8	50.72	小島 颯太	岡崎東海
800m	8	2:00.13	柴田 侑	豊橋南陽
3000m	7	8:40.17	松井 寛翔	逢妻
4×100mR	7	43.49	丹羽 皓星	扇台
			前島 和歩	
			小島 拓真	
			伊藤 大翔	
走高跳	7	1m87	長谷川 豪	碧南新川
走幅跳	4	6m89	田中 瑛一	田原

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100mH	8	14.19	坂口 由花	尾張旭西
四種競技	4	2889	田島七里香	尾張旭西

第62回東海陸上競技選手権大会

2019年8月24日(土)・25日(日) 三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場

男子

(3位入賞者)(GR：大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	2	杉本 大騎	中京大	10.46
200m	3	伊里 洋海	関西学院大	21.29
400m	1	富田 大智	中京大中京高	47.17
	2	吉津 拓歩	東洋大	47.42

800m	1	鹿居 二郎	亜細亜大	1.50.61 GR
1500m	2	大上 颯麻	東京国際大	3.52.28
5000m	1	中西 玄気	愛三工業	14.25.95
10000m	2	坂田 昌駿	中央発條	30.35.64
110mH	3	山本 健太	中京大	14.09
400mH	1	小田 将矢	名古屋大	50.04
	2	伊奈 颯太	城西大	50.94
	3	高橋 遼将	中京大中京高	51.32
3000mSC	1	川瀬 宙夢	筑波大	9.10.19
	2	河野 宏樹	TTランナーズ	9.17.20
	3	間瀬 智哉	愛知大	9.30.12
4×100mR	1	竹内 大和	中京大中京高	40.30
		富田 大智		
		神谷 翔矢		
		河田 航典		
4×400mR	1	高橋 遼将	中京大中京高	3.10.76 GR
		稲川 慧亮		
		鈴木 大河		
		富田 大智		
走高跳	2	道脇 大斗	エニスポ	2.13
棒高跳	1	鈴木 康太	日体大	5.30
	2	石川 拓磨	中京大	5.30
走幅跳	3	渡邊圭一郎	トヨタ自動車	7.65
砲丸投	2	白藤 聖陽	日本大	15.32
円盤投	3	中井 康二	中京大	45.92
ハンマー投	1	古旗 崇裕	中京大	66.06
	3	岩田 知大	筑波大	60.27
やり投	3	八木 一憲	みかん山	69.93

5000m	3	磯部 早良	安城学園高	17.14.39
100mH	3	伊藤瑠莉彩	中京大	13.69
400mH	3	北野 有紀	愛知教育大	1.00.34
3000mSC	1	後藤 梨奈	中京大	10.41.38 GR
	2	小林 未来	安城学園高	10.46.61 GR
	3	原 舞奈	東京学芸大	11.09.03
4×100mR	2	岸本 優花	中京大中京高	46.87
		福本 萌菜		
		須崎 心優		
		高須 鮎香		
	3	中西 楓夏	至学館高	47.28
		大城 珠莉		
		田中 海来		
4×400mR	2	岸本 優花	中京大中京高	3.52.32
		須崎 心優		
		萩原 さや		
		青山 理奈		
走高跳	1	小笠原早矢楓	甲南大	1.71
	2	榊原至佳子	立命館大	1.68
	3	中西 美早	日女体大	1.68
棒高跳	2	塩崎 泉	筑波大	3.70
	3	渡邊 南月	岡崎城西高	3.60
三段跳	1	浅野紗弥香	TIS	12.34
	3	加藤 早紀	小島プレス	11.98
円盤投	1	川口 紅音	日体大	45.73
	3	小原 桃華	九共大	40.85

女子

(GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	1	高須 鮎香	中京大中京高	11.68
	3	大城 珠莉	至学館高	11.86
200m	1	倉橋 美穂	中京大中京高	24.43
	2	松本 扶弥	愛知教育大	24.88
400m	1	松本 扶弥	愛知教育大	55.81
	3	三輪 未来	中京大中京高	57.33
800m	1	青山 理奈	中京大中京高	2.09.70
	2	藤井 亜子	至学館大	2.10.30
	3	小山 愛結	安城学園高	2.10.41
1500m	1	磯部 早良	安城学園高	4.44.13
	2	安藤 優月	安城学園高	4.46.86
	3	早川想世加	安城学園高	4.47.71

第36回東海小学生リレー競技大会
兼第5回東海小学生陸上競技大会
 2019年8月24日(土)・25日(日) 三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場

男子

(3位入賞者)

種目	順位	氏名	所属	記録
5年100m	2	今泉 成聖	豊川AC	14.29
	3	丸田 昊	TSM	14.34
6年100m	1	水野 賢仁	なごや陸上ク	12.68
コンバインドA	3	高島 悠生	TSM	2135
コンバインドB	2	猪熊 凌棋	TSM	2019

女子 (3位入賞者)

種目	順位	氏名	所属	記録
6年100m	2	佐竹 愛琉	豊川 AC	13.60
コンバインドB	2	青木 唯	JAC 武豊	1904

混合 (3位入賞者)

種目	順位	氏名	所属	記録
4×100mR	1	林 天心	田原陸上	52.09
		巻口 周平		
		藤城 咲		
		渥美 紅芭		
	3	田中 優星	安城 JAC	52.56
		山岸 未来		
		久野 永遠		
		服部 仁弥		

第40回愛知県ジュニアオリンピック競技大会
第50回ジュニアオリンピック陸上競技大会愛知選手選考会
2019年8月31日(土) パロマ瑞穂スタジアム

(クラス:A…中3 B…中2 C…中1 HK:標準記録突破)

	種目	1位	2位	3位
男子A	100m	伊藤 大翔 11.12 扇台	谷藤 海友 11.18 豊川東部	小島 拓真 11.28 扇台
	200m	万前 瑞葵 22.35 HK 知立	高橋 大地 22.38 HK なごや陸上	清田虎太郎 22.42 福江
	3000m	大岩 蓮 8.56.33 東港	河野 温喜 8.59.50 葵	大岩 準 9.01.34 東港
	110mJH (0.991m)	澤田 憲佑 14.94 鎌倉台	加藤 信太 15.52 TSM	浅井 水貴 15.93 鶴城
	走高跳	長谷川 豪 1.85 新川	一色 新太 1.85 豊橋陸上クラブ	高木 翔大 1.85 大府西
	砲丸投 (5.000kg)	大沼 弘人 12.87 高蔵寺	佐藤 喜嗣 12.18 羽田	土屋 大智 11.44 大高
男子B	100m	黒木 孝史 11.65 守山東	伊藤 彪希 11.66 豊橋南稜	猪上 詞穂 11.74 東港
	1500m	天野 啓太 4.11.48 翔南	杉田 晃大 4.13.87 竜海	植村 龍一 4.14.25 二川
	110mYH (0.914m)	横山 将也 14.94 HK TSM	下田 隼人 15.42 牟呂	高須 敦史 15.48 平坂
	走幅跳	渡久地 海 6.30 守山東	山坂 隼也 6.28 猪高	森部 諒 6.19 富貴
	砲丸投 (4.000kg)	兵藤 拓郎 14.11 御幸山	加藤 大惺 14.07 鎌倉台	渡邊 隼 13.88 大府
男子C	100m	中山二千翔 11.65 東浦北部	古池 功樹 11.83 古知野	大場 万央 11.83 豊橋北部
	1500m	佐々木 哲 4.31.34 TSM	松本 悠雅 4.31.39 竜南	城間 龍奨 4.34.86 六ツ美

男子C	100mH (0.838m) (オープン)	金子 凌空 15.36 五並	金谷 晴風 15.58 宝神	三井 隆正 16.16 長久手北
	走幅跳	松本 昂士 5.75 TSM	鈴木 哉汰 5.71 TSM	村林 航輔 5.49 武豊
	砲丸投 (4.000kg) (オープン)	松田 流輝 13.56 福岡	河本 雅崇 11.40 振甫	神谷 鎮伍 10.65 田光
男子ABC共通	棒高跳 (オープン)	林本 匠平 3.40 古知野	石田 知暉 3.40 東浦	田邊 悠馬 3.40 大口
	円盤投 (1.500kg)	吉田 将隆 33.20 港南	田中 佳亮 30.40 御幸山	宮原 醇 30.26 守山西
	ジャベリック スロー	杉浦 幹汰 63.30 瑞穂ヶ丘	阿部 泰典 58.13 矢作北	古川 秀将 57.65 萩山
男子BC共通	走高跳 (オープン)	今泉 裕登 1.80 豊橋南稜	松本 浩幸 1.70 AC一宮J	1.65 西口 温 六ツ美北 加古 彩人 知多
女子A	100m	森山 夢菜 12.59 豊橋南陽	高橋 沙季 12.70 大高	坂井 寿々 12.71 TSM
	200m	中野 知咲 25.81 豊橋陸上クラブ	中島 明香 25.89 扇台	和佐田真広 26.27 ハイテクAC
	3000m	林 那優 10.02.55 一宮	栈敷真菜美 10.03.43 六ツ美北	増田 吏紗 10.09.66 篠目
	100mYH (0.762m)	中西百萌佳 14.14 HK TSM	坂口 由花 14.29 HK TSM	高木 茜里 14.39 HK 長良
	走高跳	鈴木 菜美 1.60 六ツ美北	矢野 夏希 1.57 章南	伊藤咲幸花 1.54 一宮
	砲丸投 (4.000kg)	小原 恵 11.46 HK 大高	岡嶋 真帆 10.72 守山東	浅田 結衣 9.35 鶴城
女子B	100m	片山 心菜 12.35 HK 城北	林 美希 12.46 HK 翔南	田島七里香 12.47 HK TSM
	1500m	小嶋 聖来 4.34.02 HK 六ツ美北	内山 由菜 4.35.00 HK 逢妻	鈴村 愛菜 4.39.72 六ツ美北
	100mH (0.762m)	松浦 紗良 15.09 御幸山	熊谷 実華 15.26 金屋	春日 凜 15.29 TSM
	走幅跳	松村 琴都 5.32 TSM	小島 嘉恩 5.12 沢上	袁 瞳 5.08 守山西
女子C	砲丸投 (2.721kg)	山田 真央 13.20 HK 御幸山	大井ほのか 11.54 豊橋東部	佐々木安里 10.96 豊正
	100m	佐藤 俐有 12.50 HK 田原東部	嶋 結菜 12.66 高豊	真田 あこ 12.91 章南
	800m	森 千莉 2.17.45 HK 浄水	壁谷 裕奈 2.17.76 HK 竜海	野村 美結 2.20.47 TSM
	100mH (0.762m) (オープン)	杉藤 葵 15.15 AC一宮J	高塚 虹百 16.33 岡崎南	美濃島妃夏 16.69 振甫
	走幅跳	寺島 慶 5.08 HK TSM	水野文由里 4.93 TSM	岸本 侑里 4.78 TSM
	砲丸投 (2.721kg) (オープン)	平岩 里彩 11.10 守山	上出 聖華 10.31 高蔵寺	近藤 柚香 8.70 北陵

女子ABC共通	棒高跳 (オープン)	高野 早織 2.70 守山	都築 彩花 2.40 鶴城	松本 希 2.40 鶴城
	円盤投 (1.000kg)	伊藤 圭菜 32.21 TSM	尾崎なつみ 26.60 南城	中塚 麗菜 26.40 知多中部
	ジャベリック スロー	堤 陽菜 54.20 東郷AC	諏訪 帆南 40.21 神丘	平岡 茉莉 39.20 守山東
女子BC共通	走高跳 (オープン)	村松 優 1.56 平坂	1.50 ツイナー 鶴城 澤 実伶 平坂	

4×400mR	中京大中京 3.14.16 GR 小松健太郎 鈴木 大河 高橋 遼将 稲川 慧亮	桜丘 3.18.50 小嶋 暁 新垣 颯斗 木嶋 大翔 渡邊 元貴	豊橋東 3.19.03 坂口 藍樹 菅沼 玲央 山本 晟成 清原 隆平
走高跳	田中 鉄馬 1.97 岡崎城西	伊藤 幹弥 1.97 安城学園	羽根田僚太 1.94 豊田南
棒高跳	松嶋 愛太 4.40 中京大中京	間谷友貴矢 4.40 岡崎城西	中村 斗也 4.30 豊川
走幅跳	中島 海翔 7.11 名城大附	加藤 隼輝 7.02 中京大中京	岸 祐樹 6.89 愛工大名電
三段跳	鈴木 颯人 14.17 愛工大名電	加藤 隼輝 13.97 中京大中京	能見 俊大 13.94 三好
砲丸投 (6.0kg)	加藤 隆至 13.84 滝	高橋 諒 13.15 名古屋大谷	中島 翼 12.91 春日井工
円盤投 (1.750kg)	橋本 友陽 37.26 名古屋大谷	杉浦進太郎 37.12 桜丘	上村 勇輝 35.94 名古屋大谷
ハンマー投 (6.0kg)	小島 健誠 54.40 名古屋大谷	中野竜太郎 47.83 桜丘	吉岡 尚寛 45.20 名古屋
やり投 (800g)	大野 雄士 54.91 名城大附	横井 太翔 54.44 中京大中京	山下 令馬 53.62 五条
総合	中京大中京 86	名古屋大谷 30	豊川 30
トラック	中京大中京 57	豊川 24	名経大高蔵 19
フィールド	中京大中京 29	名古屋大谷 26	名城大附 14

2019年度駅伝強化豊川長距離競技会
2019年9月16日(月)豊川市陸上競技場

(1位のみ)

種目	氏名	所属	記録
高校・一般男子 5000m	サイティム・サイモン	中央発條	13.39.17
中学・高校・一般女子 3000m	坂牧 紗衣	光ヶ丘女子高	9.44.58
高校・一般女子 5000m	松浦 藍子	愛知淑徳大	20.25.77

令和元年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会
2019年9月28日(土)・9月29日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (GR:大会新 =GR:大会タイ)

種目	1位	2位	3位
100m	河田 航典 10.84 中京大中京	佐野 尊 10.85 愛知	近藤 工雅 10.94 岡崎城西
200m	佐野 尊 21.89 愛知	永野 響 22.07 長久手	近藤 工雅 22.09 岡崎城西
400m	稲川 慧亮 47.86 中京大中京	菅沼 玲央 48.07 豊橋東	新垣 颯斗 48.44 桜丘
800m	間瀬 維温 1.57.94 中京大中京	高嶋 莊太 1.58.08 中京大中京	大塚 光陽 1.58.10 旭丘
1500m	片山 宗哉 4.07.25 愛知	稲山 太郎 4.07.56 千種	伊藤 大和 4.07.68 名経大高蔵
5000m	前田 徹平 14.52.67 豊川	近田 陽路 15.09.44 豊川	鈴木 仁都 15.10.90 名経大高蔵
110mH (1.067m)	高橋 遼将 14.30 GR 中京大中京	西 徹朗 14.42 =GR 名古屋	梶山 雄太 15.28 津島
400mH (0.914m)	高橋 遼将 51.69 GR 中京大中京	鈴木 大河 52.52 中京大中京	新垣 颯斗 53.74 桜丘
3000mSC	浅井 皓貴 9.14.30 豊川	長谷川 源 9.26.64 名経大高蔵	柏木 那央 9.26.74 中京大中京
5000mW	吉野 明道 22.23.38 千種	山本 蒼 23.23.48 新城東	服部 永遠 23.37.03 佐織工
4×100mR	岡崎城西 41.33 深瀬 京佑 近藤 工雅 都築 奨一 鈴木 一磨	中京大中京 41.33 加藤 隼輝 西垣 拓音 鈴木 大河 高橋 遼将	安城学園 41.96 瀧石 純 恵美 己詩 山並 星南 小原 拓麻

女子 (GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	沖 美月 12.09 岡崎城西	濱山 瑞希 12.20 安城学園	手島 美咲 12.24 安城学園
200m	濱山 瑞希 24.76 安城学園	沖 美月 24.99 岡崎城西	谷口 琴音 25.13 岡崎
400m	小山 愛結 57.25 安城学園	勝村 彩永 57.37 津島	中野 直子 57.89 明和
800m	小山 愛結 2.10.98 安城学園	青山 理奈 2.11.54 中京大中京	川島 実桜 2.11.99 豊橋南
1500m	磯部 早良 4.34.10 安城学園	竹田 実紗 4.37.32 安城学園	永谷 千宙 4.37.40 安城学園
3000m	磯部 早良 9.52.65 安城学園	坂牧 紗衣 9.53.44 光ヶ丘女子	金子 藍 10.00.05 豊明
100mH (0.840m)	齋藤みゆに 14.67 名城大附	池田 汐李 14.93 春日井南	成田 乙葉 15.15 中京大中京
400mH (0.762m)	神田 彩名 1.02.19 名城大附	澤 美羽 1.02.87 至学館	前田明日香 1.04.48 瑞陵
5000mW	岩田 華侑 26.40.64 一宮	片原未紗音 27.02.79 豊明	多久なづな 27.26.93 安城
4×100mR	安城学園 47.48 山口さくら 濱山 瑞希 手島 美咲 中根 葵	中京大中京 47.51 岸本 優花 福本 萌菜 政野 志歩 須崎 心優	豊橋南 47.95 小林 愛美 富田 遙加 中馬 早稀 竹川 綾乃
4×400mR	安城学園 3.52.83 中根 葵 濱山 瑞希 飯田 真衣 小山 愛結	中京大中京 3.53.30 須崎 心優 山田 晴華 政野 志歩 青山 理奈	名城大附 3.54.17 林 杏茄 野原めぐみ 前田あすか 神田 彩名

走高跳	齋藤みゆに 1.68 名城大附	吉岡 美音 1.61 岡崎城西	1.61 椋山奈津子 至学館 熊谷 琴美 豊川
棒高跳	磯貝 芽於 3.20 岡崎城西	篠崎 稔里 3.00 至学館	菊池万莉菜 2.80 西春
走幅跳	高橋 好波 5.86 三好	前田あすか 5.78 名城大附	加藤 彩也 5.55 岡崎城西
三段跳	浅井 美和 11.55 光ヶ丘女子	加藤 彩也 11.48 岡崎城西	井田明香梨 11.30 瑞陵
砲丸投 (4.0kg)	辻 萌々子 11.72 名古屋大谷	岩田やえの 11.71 中京大中京	中島 彩瑛 11.17 中京大中京
円盤投 (1.0kg)	中嶋日向子 39.06 修文女子	中島 彩瑛 36.70 中京大中京	小河 遥花 36.02 名古屋大谷
ハンマー投 (4.0kg)	小河 遥花 45.53 GR 名古屋大谷	竹内佑里花 42.95 安城学園	村上 梨華 41.72 佐織工
やり投 (600g)	中川 満瑠 46.38 GR 三好	辻 萌々子 45.32 GR 名古屋大谷	白鳥 百花 42.00 中京大中京
総合	安城学園 71.5	中京大中京 54	岡崎城西 35
トラック	安城学園 61	中京大中京 31	名城大附 17
フィールド	中京大中京 23	名古屋大谷 22	岡崎城西 20

少年女子

種目	順位	氏名	所属	記録
A	100m	8 井戸アビゲイル風果	至学館高	12.20
	走幅跳	7 高橋 好波	三好高	5.74
B	100m	4 倉橋 美穂	中京大中京高	12.28
共通	800m	4 川島 実桜	豊橋南高	2.09.51
	三段跳	2 小寺 波音	安城学園高	12.72
	やり投	4 田中 友梨	至学館高	48.27

成少年男子

種目	順位	氏名	記録
4×100mR	8	館野 峻輝、本郷 汰樹、 小田 将矢、遠藤 耕介	40.58

成少年女子

種目	順位	氏名	記録
4×100mR	2	大城 珠莉、倉橋 美穂、 柴山沙也香、井戸アビゲイル風果	45.41

男女総合(天皇杯): 8位(87点)

女子総合(皇后杯): 10位(50点)

第74回国民体育大会

2019年10月4日(金)~8日(火) 笠松運動公園陸上競技場

成年男子 (入賞のみ GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
400mH	1	小田 将矢	名古屋大	49.42
やり投	7	八木 一憲	みかん山	72.65

成年女子

種目	順位	氏名	所属	記録
5000m	5	福田 有以	豊田自動織機	15.42.56
5000mW	5	矢来 舞香	中京大	22.31.94

少年男子

種目	順位	氏名	所属	記録
A	400m	3 富田 大智	中京大中京高	47.49
	やり投	2 堤 洸太郎	瑞陵高	66.25
B	100m	6 館野 峻輝	中京大中京高	11.18
	3000m	6 吉村 聡介	豊川高	8.23.89
共通	800m	5 馬場勇一郎	中京大中京高	1.51.44
	走高跳	6 宇野琳太郎	安城学園高	2.03

令和元年度愛知県高等学校定時制通信制秋季陸上競技大会

2019年10月13日(日) 知多運動公園陸上競技場

男子 (GR:大会新) (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	坂本 陽斗	飛鳥未来	11.33
200m	坂本 陽斗	飛鳥未来	23.51
400m	原田 登生	ルネサンス	53.88
800m	綾部 俊哉	科技刈谷	2.11.91
1500m	佐藤 匠	碧南	4.58.74
5000m	伊藤 直希	科技刈谷	19.28.53
400mH	橋本 陸馬	科技刈谷	56.35 GR
3000mSC	大曾根魁志	科技刈谷	11.08.82
4×100mR	植村・橋本・松下・浅井(科技刈谷)		46.90
4×400mR	金子・橋本・竹内・綾部(科技刈谷)		3.42.94
走高跳	光岡 義康	岡崎工	1.65
走幅跳	角田 侑哉	科技刈谷	6.10
三段跳	浅井 健汰	科技刈谷	12.16
砲丸投	田中光太郎	飛鳥未来	10.44
円盤投	吉村 龍也	津島	24.70

女子

(GR:大会新)(1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	八田 彩伽	科技刈谷	14.31
200m	森 なつ実	飛鳥未来	28.37
400m	森 なつ実	飛鳥未来	1.06.20
800m	尾崎 心花	科技刈谷	2.51.21
3000m	杉浦 由依	科技刈谷	13.36.64
100mH	八田 彩伽	科技刈谷	17.36 GR
4×100mR	吉川・杉浦・尾崎・八田(科技刈谷)		58.76
走高跳	井上アリスマリエ	旭丘	1.40
走幅跳	赤川 真白	起工	4.39
砲丸投	脇田恵里加	津島	5.78
円盤投	長岡 せな	豊橋昼	17.20

U20・U18 日本陸上競技選手権大会
 2019年10月18日(金)～20日(日)
 広島広域公園陸上競技場 本県8位入賞のみ

U20 男子

種目	順位	氏名	学校名	記録
400m	1	富田 大智	中京大中京高	46.64
	4	小清水悠介	駿河台大	47.98
110mH	6	岩堀 剛己	名古屋高	13.94
400mH	2	伊奈 颯太	城西大	50.64
三段跳	3	森澤 翔尉	中京大中京高	15.21
ハンマー投	3	佐々木秀斗	岐阜協立大	67.26
やり投	5	牧野 快士	日本体育大	61.82

U20 女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	8	大城 珠莉	至学館高	12.26
200m	5	大城 珠莉	至学館高	24.61
走高跳	4	小笠原早矢楓	甲南大	1.69
棒高跳	4	浦津なの	中京大中京高	3.70
	7	渡邊 南月	岡崎城西高	3.70
三段跳	4	小寺 波音	安城学園高	12.35
	8	平松 紗季	中央大	11.97
ハンマー投	8	平岩 志萌	旭野高	51.79

U18 男子

(GR:大会新)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	3	河田 航典	中京大中京高	10.75

100m	7	鈴木 大河	中京大中京高	10.85
800m	6	菅沼 玲央	豊橋東高	1.56.99
110mH	1	高橋 遼将	中京大中京高	13.60 GR
	5	鈴木 大河	中京大中京高	14.11
300mH	1	高橋 遼将	中京大中京高	36.57
4×100mR	5	館野 峻輝	中京大中京高	41.10
		西垣 拓音		
		鈴木 大河		
		河田 航典		

U18 女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
800m	2	青山 理奈	中京大中京高	2.09.91
	4	川島 実桜	豊橋南高	2.10.82
300mH	4	神田 彩名	名城大附高	43.00
ハンマー投	3	木下 七海	旭野高	49.47
	6	小河 遥花	名古屋大谷高	47.90
やり投	3	辻 萌々子	名古屋大谷高	46.27
	6	中川 満瑠	三好高	44.52

第22回東海高等学校新人陸上競技選手権大会
 2019年10月26日(土)・27日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子

(GR:大会新)(3位までの入賞分)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	3	佐野 尊	愛知	10.83
200m	3	佐野 尊	愛知	22.00
400m	1	新垣 颯斗	桜丘	48.92
	3	菅沼 玲央	豊橋東	49.09
800m	3	間瀬 維温	中京大中京	1.56.86
1500m	2	石川 龍芽	名経大高蔵	4.05.99
5000m	1	前田 徹平	豊川	14.37.46
	2	近田 陽路	豊川	15.02.94
110mH	1	西 徹朗	名古屋	14.26 GR
400mH	1	新垣 颯斗	桜丘	53.57
	2	西山 雄吾	旭野	54.67
	3	小川 大輝	豊橋南	55.05
3000mSC	1	浅井 皓貴	豊川	9.29.66
	2	樋渡 雄太	名経大高蔵	9.30.52
	3	近藤輝愛来	至学館	9.31.20

5000mW	2	吉野 明道	千種	22.27.10
4×100mR	1	深瀬 京佑 近藤 工雅 藤都 獎一 山口 晴生	岡崎城西	41.46
4×400mR	1	西垣 拓音 桂木 大和 桐山誠二郎 小松健太郎	中京大中京	3.17.81
走高跳	2	伊藤 幹弥	安城学園	2.02
	3	田中 鉄馬	岡崎城西	1.99
ハンマー投	2	小島 健誠	名古屋大谷	55.48

三段跳	2	加藤 彩也	岡崎城西	11.55
	3	浅井 美和	光ヶ丘女子	11.49
砲丸投	2	中島 彩瑛	中京大中京	11.73
	3	辻 萌々子	名古屋大谷	11.71
ハンマー投	3	小河 遥花	名古屋大谷	44.51
やり投	1	辻 萌々子	名古屋大谷	46.20
	3	中川 満瑠	三好	42.64

第1回愛知県中学生新人陸上競技大会 2019年11月2日(土)パロマ瑞穂スタジアム

女子

(GR:大会新 =GR:大会タイ)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	2	濱山 瑞希	安城学園	12.28
200m	1	竹川 綾乃	豊橋南	24.98
400m	2	土居 心愛	光ヶ丘女子	57.15
	3	青山 理奈	中京大中京	57.19
800m	1	川島 実桜	豊橋南	2.11.44 GR
	2	小山 愛結	安城学園	2.11.81 GR
	3	青山 理奈	中京大中京	2.12.43 GR
1500m	1	磯部 早良	安城学園	4.38.45
3000m	1	磯部 早良	安城学園	9.51.95
400mH	1	神田 彩名	名城大附	1.01.06
	3	澤 美羽	至学館	1.02.61
5000mW	3	岩田 華侑	一宮	25.59.23
4×100mR	1	松本佳音 倉橋美穂 岸本優花 須崎心優	中京大中京	46.83 =GR
	2	飯田 真衣 濱山 瑞希 手島 美咲 中根 葵	安城学園	47.34
4×400mR	1	手島 美咲 小山 愛結 濱山 瑞希 飯田 真衣	安城学園	3.52.15
	2	須崎 心優 萩原 さや 山田 晴華 青山 理奈	中京大中京	3.52.42
	3	林 杏茄 野原めぐみ 前田あすか 神田 彩名	名城大附	3.56.25
走幅跳	2	高橋 好波	三好	5.61
	3	浅井 美和	光ヶ丘女子	5.49

男子

種目	1位	2位	3位
1年 100m	浮海 瑛人 11.72 春日井東部	高井 佑太 11.82 富貴	金谷 晴風 11.98 宝神
2年 100m	向井 悠汰 11.40 安城南	中山二千翔 11.43 東浦北部	佐々木康太郎 11.59 東浦西部
3年 100m	香山 勇輝 10.92 東郷AC	岩田 航輝 10.94 平坂	伊藤 大翔 11.04 扇台
200m	浦口 泰陽 23.59 鶴城	小島 一桐 23.60 扇台	大場 万央 23.76 豊橋北部
400m	竹森 斗涉 52.00 豊橋中部	永田 敦也 52.65 尾張旭東	久田 凌大 52.71 福江
800m	山田 湊太 2.04.70 稲武	富田 学将 2.05.00 守山東	石井 雄大 2.06.86 東海
1500m	柴田 順平 4.23.89 阿久比	岸上 誉 4.24.47 豊橋南陽	畑村 侑壱 4.25.92 大高
3000m	河邊 勇希 9.11.79 千種	豊田 雄大 9.22.46 AC一宮Junior	仲井 蓮人 9.23.86 羽田
110mH (0.914m)	横山 将也 14.86 名古屋北	下田 隼人 14.93 牟呂	高須 敦史 15.17 平坂
4×100mR	逢妻 45.21 田實 陽翔 横道 絢 ペニーラアンドルウ 松山 大輝	東浦北部 45.28 水野 成皓 三井 楓 戸田 源大 中山二千翔	扇台 45.86 西垣 俐玖 前島 和歩 小島 一桐 竹居 宇宙
走高跳	松本 浩幸 1.85 AC一宮Junior	加藤 颯真 1.79 猿投台	室井 龍我 1.76 牟呂
棒高跳	久世 優空 3.30 大須AC	真島 陸 3.10 宮田	3.00 鈴木 武樹 知多 加藤 唯汰 知多
走幅跳	森部 諒 6.24 富貴	松本 昂士 5.91 TSM	五藤 翔 5.91 木曾川
砲丸投 (5.0kg)	兵藤 拓郎 13.12 御幸山	松田 流輝 12.55 福岡	渡邊 隼 11.72 大府
円盤投 (1.0kg)	根本 睦千 27.75 味美	今野 哲司 26.93 港南	春日井 宗 26.50 宮田

男子総合	宮田 22	知多 18	東浦北部 17
------	-------	-------	---------

第33回愛知県小学生陸上競技選手権大会
2019年11月4日(月) パロマ瑞穂スタジアム

女子

種目	1位	2位	3位
1年 100m	佐藤 俐有 12.68 田原東部	松岡 実佑 12.92 愛知陸協	高津 采里 13.20 田原東部
2年 100m	嶋 結菜 12.86 高豊	石倉 実侑 13.06 田原東部	鈴木 虹葉 13.10 竜北
3年 100m	森山 夢菜 12.38 豊橋南陽	中島 明香 12.59 扇台	坂井 寿々 12.65 TSM
200m	中澤 愛菜 26.64 尾張ランスター	加藤ひなた 26.80 大須AC	小酒井結菜 26.81 豊橋南部
800m	野村 美結 2.19.15 TSM	宇井 優月 2.19.74 安城北	江藤 柚葉 2.19.97 刈谷東
1500m	林 彩夢 4.45.51 鶴城	柴田 桃花 4.45.70 弥富	山本 理乃 4.47.88 猪高
100mH (0.762m)	田島七里香 14.53 TSM	熊谷 実華 15.05 金屋	大谷 遥香 15.16 神丘
4×100mR	田原東部 50.43 河合 夏希 石倉 実侑 高津 采里 佐藤 俐有	振甫 50.81 濱 あい莉 原 空音 井上 愛梨 加藤 心春	御幸山 51.28 磯村 怜佳 松浦 紗良 合田 亜舞 森田 真暢
走高跳	澤 実伶 1.60 平坂	太田 結愛 1.54 尾張旭東	伊藤 羽優 1.51 東陽
棒高跳	松本 希 2.70 鶴城	草野 咲蕾 2.70 愛知陸協	都築 彩花 2.60 鶴城
走幅跳	松村 琴都 5.52 南城	寺島 慶 5.28 汐路	河合くるみ 5.27 豊川東部
砲丸投 (2.721kg)	山田 真央 13.33 御幸山	村瀬 晴菜 11.56 大高	大井ほのか 11.27 豊橋東部
円盤投 (1.0kg)	山田 菜央 28.44 愛知陸協	鷲尾也哉子 25.75 瑞穂ヶ丘	小栗 由莉 24.28 牧の池
女子総合	田原東部 29	鶴城 23.5	御幸山 20

男子

(ER：県小学生記録)

種目	1位	2位	3位
4年 50m	北村 聡祐 7.60 稲沢 AC	星川 幾哉 7.67 豊橋陸上	川合 来門 7.71 田原陸上
5年 100m	大村 海惺 13.82 なごや陸上	今泉 成聖 13.85 豊川 AC	丸田 昊 13.92 TSM
6年 100m	中島 悠太 12.22 TSM	巻口 周平 12.54 田原陸上	神谷 流星 12.79 TSM
4年 80mH	杉浦 崇義 13.34 ER TSM岡崎	脇島 良惟 13.58 ER成岩SC陸上	山本 一真 13.58 ER TSM
5年 80mH	高島 峻央 13.69 TSM	セントンゴ大駕 13.86 TSM	山崎 滯生 13.96 TSM 岡崎
6年 80mH	高島 悠生 12.40 TSM	樋口 諒 12.53 TSM	藤田 唯央 12.74 TSM 岡崎
4年 走高跳	石井 佑昊 1.20 ER 布袋陸上クラブ	鈴木 雄登 1.15 TSM	石川 湊真 1.15 JAC 武豊
5年 走高跳	矢野 春樹 1.25 JAC 武豊	鈴木 脩平 1.20 JAC 武豊	多田己一郎 1.15 布袋陸上クラブ
6年 走高跳	岡松 晴芽 1.40 布袋陸上クラブ	坂井 大一 1.35 *FA TSM	鋤柄 佑真 1.35 *FA JAC武豊
4年 走幅跳	楯 大和 3.97 東浦 AC	吉田 有杜 3.56 ハイテク AC	武藤圭史朗 3.56 なごや陸上
5年 走幅跳	木村 晴 4.24 JAC 武豊	深津 輝瀧 4.11 JAC 武豊	坂 優作 4.05 東浦 AC
6年 走幅跳	柏崎 祐毅 5.10 安城 JAC	守川 毅 4.97 トライル AC	猪熊 凌撰 4.54 TSM
4年 ジャベリックボール投	谷口 滉弥 40.93 トライル AC	河合 健琉 39.24 田原陸上	齋藤 大和 38.98 トライル AC
5年 ジャベリックボール投	星野 陸 44.37 OBUエニスポ	松永 健生 39.63 稲沢 AC	田野尻ラン 38.86 豊橋陸上
6年 ジャベリックボール投	安藤 楓真 57.09 東郷 AC	脇田 晃介 51.97 TSM	時吉 智矢 50.27 TSM 岡崎

*FA：決定試技による順位

2019年度第2回駅伝強化長距離競技会
2019年11月3日(日) 知多運動公園陸上競技場

(1位のみ)

	種目	氏名	所属	記録
男子	3000m	柴田 侑	豊橋南陽中	8.37.99
	5000m	松井 将器	三河高原キャンプ村	14.12.87
	5000mW	山田 華生	南山大	21.49.96
女子	3000m	山本 彩乃	小島プレス	9.43.87
	5000mW	岩瀬映伊美	皇學館大	26.18.12

女子

(ER：県小学生記録 GR：大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年 50m	松浦 若奈 7.85 大須 AC	祖父江亜希夏 7.86 AC一宮Kids	八代 理衣 7.87 上郷 JAC
5年 100m	田中 咲有 13.80 安城 JAC	高崎 生愛 14.15 稲沢 AC	竹内 沙葉 14.19 上郷 JAC
6年 100m	岡村マリアナミコ 12.98 安城 JAC	三輪 琉姫 12.98 トライル AC	神谷 朱里 13.01 安城 JAC
4年 80mH	榊原 東子 13.69 ER JAC武豊	柴田 彩羽 14.80 TSM	三輪 成未 15.02 AC一宮Kids
5年 80mH	蛭川 真奈 13.44 成岩SC陸上	山本 星姫 13.68 TSM 岡崎	印牧 涼香 13.89 TSM
6年 80mH	村田 愛奈 12.29 GR TSM	井坂 優里 13.03 TSM	平塚 玲音 13.09 TSM 岡崎

4年 走高跳	破田野早映 1.20 ER AC一宮Kids	中馬 聡美 1.20 ER TSM	荻巣 沙菜 1.15 ER 大須 AC
5年 走高跳	間瀬 奏波 1.20 蒲郡クラブ	竹中 柚晴 1.15 TSM	鈴木 菜央 1.15 TSM 岡崎
6年 走高跳	堀 亜衣菜 1.30 トライルAC	加藤 佑奈 1.25 *FA 知立ジュニア	砂坂 光咲 1.25 *FA AC一宮 Kids
4年 走幅跳	伊藤 里桜 4.00 大須 AC	門谷美沙乃 3.73 豊橋陸上	中村 倫子 3.67 成岩SC陸上
5年 走幅跳	大野 世奈 4.18 なごや陸上	石原 礼奈 3.97 豊川 AC	犬飼 心彩 3.96 JAC 武豊
6年 走幅跳	堀 和月 4.77 豊川 AC	糟谷 朋葉 4.75 JAC あつみ	三好 澄果 4.53 JAC あつみ
4年 ジャベリックボール投	番 菜々美 31.69 なごや陸上	窪田真奈佳 31.10 大須 AC	渡邊 明花 29.74 TSM 岡崎
5年 ジャベリックボール投	夏目 純佳 37.48 TSM 岡崎	大野 奈美 36.80 AC一宮Kids	佐藤 聖夏 36.66 トライルAC
6年 ジャベリックボール投	猶崎 由梨 48.80 GR トライル AC	伊藤 優亜 46.07 愛知つばさTCA	下山 玲乃 44.16 布袋陸上クラブ

- ⑤第35回全国小学生陸上競技交流大会の成績について
- ⑥各専門委員会報告
- ⑦各地区陸上競技協会より
- ⑧その他

(水野 隆夫)

栄章

おめでとうございます

令和元年10月4日(金)～8日(火)第74回国民体育大会「いきいき茨城夢国体」の会場「茨城県笠松運動公園陸上競技場(ひたちなか市)」において、日本陸上競技連盟より、次に挙げる皆様が栄章を授与されました。心よりお祝い申し上げます。



(秩父宮章) 日本陸連・加盟団体への功労者

- 中尾 洋一(西三河陸上競技協会副会長)
- 兵藤 重二(東三河陸上競技協会理事長)

(高校優秀指導者章) 高校生指導者としての功労者

- 鈴木 克哉(豊川高等学校)

(中学優秀指導者章) 中学生指導者としての功労者

- 長瀬 基延(古知野中学校)

(水野 隆夫)

男女混合

(ER: 県小学生記録)

種目	1位	2位	3位
4年 4×100mR	大須AC 58.45 ER 松浦 若奈 伊藤 里桜 毛利 有秀 上原 大輝	田原陸上 58.87 ER 星野 月音 川合 来門 塚原 美空 前川 紡	豊橋陸上 59.39 ER 清水 柚花 藤坂 百彩 松橋 颯歩 星川 幾哉
5年 4×100mR	安城JACA 56.07 ER 倉地 康介 鳥居 彦成 伏木 杏莉 田中 咲有	豊橋陸上 56.63 ER 布施 一葉 花井 咲愛 鳥山 流生 長岡 碧	上郷 JAC 56.93 平岩 琴葉 竹内 沙葉 久野 巧 近藤 祐伍
6年 4×100mR	安城 JACA 50.38 ER 神谷 朱里 岡村マリアナミコ 小野 真大 山内 達平	TSM 51.16 村田 愛奈 中島 悠太 天野レイナ 神谷 流星	田原陸上 51.59 松井 天佑 巻口 周平 藤城 咲 渥美 紅芭

理事会等会議報告

○8月理事会 令和元年8月16日(金) 18:00 教育会館

1. 協議事項

- ①第74回国民体育大会愛知県代表選手団(役員・選手)の選考について
- ②その他

2. 報告事項

- ①第74回国民体育大会代表選手の強化合宿について
- ②マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2020について
- ③第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会の成績について
- ④第46回全日本中学校陸上競技選手権大会出場者について

編集後記

◇世界選手権やMGCで選出された愛知ゆかりの選手の、東京オリンピックでの活躍を期待したい。◇ロード・駅伝のシーズンが始まるが、選手の最大限の頑張りを支えるスムーズな運営に努力したい。◇多くの寄稿に感謝。

編集委員

- 大西 敏功 小坂 拓 鈴木人呂信 竹前 正直
- 茶谷 和彦 新見 精三 野口 一昭 兵藤 重二
- 山下ゆかり